

4) 早期緑化帯における植栽種の生育・形成状況

(1) G 地区

a) マント群落・ソデ群落の生育状況

G のマント群落・ソデ群落の生育・形成状況を表 7.1.3-25、図 7.1.3-25 に示した。

無障害物帯縁のマント群落・ソデ群落については、評価図書に示す環境保全措置のとおり、林縁部においてリュウキュウチクの植栽を実施しているものの、生育状況が悪く、現時点において各地点ともマント群落・ソデ群落の形成は不十分であったことから、次年度以降も存在・供用時の調査を実施し、その形成状況について把握することとする。以下に各調査地点の植生状況について整理した。

北側は、過年度の調査(平成 29 年度)において、低木層が高さ 4.0m、植被率 1～5%、出現種 2 種、草本層が高さ 0.8m、植被率 10～20%、出現種 14～15 種であった。今年度調査においては、低木層が高さ 2.5～4.0m、植被率 5%、出現種 1～2 種、草本層が高さ 0.8～1.0m、植被率 20～25%、出現種 12～16 種であった。過年度と比較すると、低木層、草本層ともに植被率の大きな増加は無かった。

南側は、過年度の調査(平成 29 年度)において、低木層が高さ 4.5m、植被率 25～30%、出現種 5～6 種、草本層が高さ 0.8m、植被率 20～40%、出現種 21～23 種であった。今年度調査においては、低木層が高さ 4.5m、植被率 20%、出現種 6～7 種、草本層が高さ 0.8m、植被率 40%、出現種 25～27 種であった。過年度と比較すると、低木層においては植被率が僅かに低下したものの、草本層においては植被率に大きな増加は無かった。

東側は、過年度の調査(平成 29 年度)において、低木層が高さ 4.5m、植被率 30～40%、出現種 8～9 種、草本層が高さ 1.0～1.3m、植被率 30～40%、出現種 25～27 種であった。今年度調査においては、低木層が高さ 4.5m、植被率 35～45%、出現種 8～9 種、草本層が高さ 1.3m、植被率 40%、出現種 24～28 種であった。過年度と比較すると、低木層の植被率が僅かに増加したが、草本層の植被率に変化は無かった。

北西側は、過年度の調査(平成 29 年度)において、低木層が高さ 4.5m、植被率 10%、出現種 1～4 種、草本層が高さ 1.0～1.3m、植被率 20～30%、出現種 30～31 種であった。今年度調査においては、低木層が高さ 2.0～4.5m、植被率 10～20%、出現種 6～10 種、草本層が高さ 0.4～1.3m、植被率 30～40%、出現種 32～36 種であった。過年度と比較すると、低木層、草本層ともに植被率が増加したほか、出現種数においても増加傾向であった。

表 7.1.3-25(1) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(G)

G マント群落・ソデ群落形成地		北側								南側								
調査年月	H28年度	H29年度				H30年度				H28年度	H29年度				H30年度			
	11/10	7/22	10/19	12/22	6/2	9/18	11/2	1/19	11/10	7/22	10/19	12/22	6/2	9/18	11/2	1/19		
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
調査区面積 (m ²)	1.5×3	1.5×3	1.5×3	1.5×3	1.5×3	1.5×3	1.5×3	1.5×3	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4		
低木層(S)の高さ (m)	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	2.5	2.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5		
低木層(S)の植被率 (%)	10	1	1	5	5	5	5	5	50	30	30	25	20	20	20	20		
低木層(S)の出現数 (種)	1	1	1	1	1	1	1	1	4	4	4	5	5	6	6	7		
草本層(H)の高さ (m)	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8		
草本層(H)の植被率 (%)	5	10	20	20	20	25	20	25	10	20	40	40	40	40	40	40		
草本層(H)の出現数 (種)	11	14	15	15	12	15	14	16	23	21	22	23	27	25	26	25		
出現種数 (種)	12	15	16	15	12	15	14	16	24	22	23	23	27	25	26	25		
低木層 (S)																		
S.1 リュウキュウチク (移植株)	1・2	++2	++2	++2	++2	++2			3・3	2・3	2・3	1・2	++2	++2				
S.2 アデク									1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1		
S.3 リュウキュウチク		+	+	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1		+	+	+	+	+	+	+		
S.4 イスノキ																		
S.5 スダジイ(イタジイ)									1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1		
S.6 シラタマカズラ															+	+		
S.7 カクレミノ									1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1		
S.8 ハナガサノキ																+		
S.9 タブノキ																		
S.10 ツゲモチ																		
S.11 リュウキュウモチ																		
S.12 シマミサオノキ																		
S.13 リュウキュウテイカカズラ													+	+	+	+		
S.14 モッコク																		
S.15 アカメガシワ																		
S.16																		
S.17 シシアクチ																		
S.18 ナカハラクロキ																		
S.19 ナンバンアワブキ																		
S.20 ヒメユズリハ																		
草本層 (H)																		
H.1 スダジイ(イタジイ)	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	++2	1・2	+	+	++2	++2	++2	++2	++2	++2		
H.2 ササクサ	++2	++2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	++2	2・2	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3		
H.3 シバヤブニッケイ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		
H.4 シンエダウチホングウシダ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		
H.5 コバンモチ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		
H.6 シラタマカズラ	+	+	+	+				+	++2	+	+	++2	++2	++2	++2	++2		
H.7 ヤマヒハツ			+		+	+	+	+			+	+	+	+	+	+		
H.8 クロガヤ						+	+	+	+	+	1・1	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2		
H.9 ヒメユズリハ	+	+	+	++2	++2	++2	+	+	+									
H.10 シロダモ	+	+	+	+	+	+	+	+										
H.11 イスノキ									+	+	+	+	+	+	+	+		
H.12 カクレミノ									+	+	+	+	+	+	+	+		
H.13 タイミンタチバナ									+		+	+	+	+	+	+		
H.14 モクレイシ		+	+	+	+	+	+	+				+	+	+	+	+		
H.15 アデク	+	+	+	+				+			+	+	+	+	+	+		
H.16 ハナガサノキ									+	+	+	+	+	+	+	+		
H.17 ササバサンキライ	+			+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		
H.18 シマミサオノキ						+	+	+		+	+	+	+					
H.19 アオバナハイノキ												+	+	+	+	+		
H.20 タブノキ									+	+			+	+	+	+		

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: かへつ状に分布, 4: かへつに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-25(2) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(G)

マント群落・ソデ群落形成地	北側								南側							
	H28年度		H29年度		H30年度				H28年度		H29年度		H30年度			
	11/10	7/22	10/19	12/22	6/2	9/18	11/2	1/19	11/10	7/22	10/19	12/22	6/2	9/18	11/2	1/19
調査年月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
調査区面積 (m ²)	1.5×3	1.5×3	1.5×3	1.5×3	1.5×3	1.5×3	1.5×3	1.5×3	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4
低木層(S)の高さ (m)	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	2.5	2.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
低木層(S)の植被率 (%)	10	1	1	5	5	5	5	5	50	30	30	25	20	20	20	20
低木層(S)の出現数 (種)	1	1	1	1	1	1	1	1	4	4	4	5	5	6	6	7
草本層(H)の高さ (m)	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	1.0	1.0	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
草本層(H)の植被率 (%)	5	10	20	20	20	25	20	25	10	20	40	40	40	40	40	40
草本層(H)の出現数 (種)	11	14	15	15	12	15	14	16	23	21	22	23	27	25	26	25
出現種数 (種)	12	15	16	15	12	15	14	16	24	22	23	23	27	25	26	25
草本層 (H)																
H. 21 リュウキュウテイカズラ	+	+	+			+			+	+	+	+	+	+	+	+
H. 22 ムッチャガラ										+	+	+	+	+	+	+
H. 23 イジュ																
H. 24 ナンバンアワブキ																
H. 25 シシアクチ																+
H. 26 アカメガシワ		+	+	+										+	+	+
H. 27 インドシャリンバイ									+	+	+	+	+		+	
H. 28 リュウキュウモチ																
H. 29 ヤブツバキ			+	+		+	+		+	+	+	+	+	+	+	+
H. 30 リュウキュウチク				+	+	+	+	+	+			+	+	+	+	+
H. 31 タイワンルリミノキ									+	+	+	+	+	+	+	+
H. 32 オキナワサルトリイバラ																
H. 33 サザンカ		+							+	+	+	+	+	+	+	
H. 34 シロノセダングサ								+						+	+	+
H. 35 ヤンバルミズバイ																
H. 36 ギョクシンカ	+	+	+	+	+				+							
H. 37 ナカハラクロキ																
H. 38 ハゼノキ																
H. 39																
H. 40 ケテイカズラ																
H. 41 ケハダルリミノキ																
H. 42 ウラジロカンコノキ																
H. 43 タシロルリミノキ																
H. 44 シロミズ																
H. 45 マンリョウ										+						
H. 46 タイワンハチジョウナ																
H. 47 カキバカンコノキ																
H. 48 コンロンカ																
H. 49 モッコク																
H. 50 ツゲモチ																
H. 51 イヌマキ									+							
H. 52 ヘクソカズラ										+						
H. 53 オニタビラコ													+			
H. 54 ゴンズイ													+			
H. 55 ホルトノキ(モガシ)																
H. 56 コメヒシバ																

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: かべつ状に分布, 4: かべつ状に穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-25(3) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(G)

マント群落・ソデ群落形成地	東側												北西側								出現回数
	H28年度		H29年度		H30年度				H28年度		H29年度		H30年度								
	11/10	7/22	10/19	12/22	6/2	9/18	11/2	1/19	11/10	7/22	10/19	12/22	6/2	9/18	11/2	1/19					
調査年月	E		E		E				NW		NW		NW								
傾斜角度 (°)	5	5	5	5	5	5	5	5	10	10	10	10	10	10	10	10					
調査区面積 (m ²)	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4					
低木層(S)の高さ (m)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	2.0	2.0					
低木層(S)の植被率 (%)	50	30	30	40	35	40	40	45	10	10	10	10	10	15	20	20					
低木層(S)の出現数 (種)	7	9	8	8	9	8	8	8	1	3	4	1	6	7	9	10					
草本層(H)の高さ (m)	1	1	1	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	0.8	1.0	1.0	1.3	1.3	1.3	0.4	0.6					
草本層(H)の植被率 (%)	15	30	40	40	40	40	40	40	10	20	20	30	30	35	35	40					
草本層(H)の出現数 (種)	21	27	26	25	24	28	28	28	20	30	31	30	32	34	33	36					
出現種数 (種)	26	30	29	29	28	31	30	31	21	31	32	31	34	36	33	37					
低木層 (S)																					
S.1 リュウキュウチク (移植株)	3・3	2・3	2・3	1・2	+・2	+・2			3・3	2・3	2・3	1・2	1・2	+・2		24					
S.2 アデク	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1					+	+	+	21					
S.3 リュウキュウチク																14					
S.4 イスノキ	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2		+	+		+	+	+・2	14					
S.5 スダジイ(イタジイ)													+	+	1・1	12					
S.6 シラタマカズラ		+	+	+	+	+	+	+								10					
S.7 カクレミノ																8					
S.8 ハナガサノキ	+	+		+	+	+								+	+	8					
S.9 タブノキ	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1								8					
S.10 ツゲモチ	+	+	+	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1								8					
S.11 リュウキュウモチ	+	+	+	+	+	+										6					
S.12 シマミサオノキ										+	+・2		1・2	1・2	1・2	6					
S.13 リュウキュウテイカカズラ																5					
S.14 モッコク					+	+	1・1	1・1								4					
S.15 アカメガシワ													1・2	1・2	1・2	4					
S.16		+	+													2					
S.17 シシアクチ															+	2					
S.18 ナカハラクロキ															+	2					
S.19 ナンバンアワブキ															+	2					
S.20 ヒメズリハ															+	2					
草本層 (H)																					
H.1 スダジイ(イタジイ)	+・2	+	+	+・2	+・2	+・2	+・2	+	+	+	+	1・2	1・2	1・2	1・2	32					
H.2 ササクサ	+・2	2・2	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3	+・2	1・2	1・2	2・2	2・2	2・2	2・2	32					
H.3 シバヤブニッケイ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	32					
H.4 シンエダウチホングウシダ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	31					
H.5 コバンモチ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	31					
H.6 シラタマカズラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	29					
H.7 ヤマヒハツ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	28					
H.8 クロガヤ	+・2	+・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	+	+	+・2	+・2	1・2	1・2	1・2	27					
H.9 ヒメズリハ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+・2	+・2	+・2	+	24					
H.10 シロダモ	+	+	+	+	+	+	+	+		+	+	+	+	+	+	23					
H.11 イスノキ	+	+	+	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2		+	+	+	+	+	+	23					
H.12 カクレミノ	+	+	+	+	+	+	+	+		+	+	+	+	+	+	23					
H.13 タイミンタチバナ	+	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+・2	+	+	+	+	+・2	+・2	+	23					
H.14 モクレイシ		+	+	+		+	+	+					+	+	+	22					
H.15 アデク		+	+						+	+	+	+	+	+	+	22					
H.16 ハナガサノキ		+	+	+	+	+	+	+			+	+	+	+	+	21					
H.17 ササバサンキライ										+	+	+	+	+	+	20					
H.18 シマミサオノキ		+	+	+	+	+	+	+		+	+	1・2			+	19					
H.19 アオバナハイノキ			+	+・2	+・2	+	+	+	+	+	+	+・2	+・2	+・2	+・2	19					
H.20 タブノキ	+	+	+	+・2	+・2	+・2	+	+		+			+	+	+	18					

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

【G：北側】



平成 28 年 11 月 10 日（過年度：初回）



平成 31 年 1 月 19 日

【G：南側】



平成 28 年 11 月 11 日（過年度：初回）



平成 31 年 1 月 19 日

【G：東側】



平成 28 年 11 月 10 日（過年度：初回）



平成 31 年 1 月 19 日

【G：北西側】



平成 28 年 11 月 10 日（過年度：初回）



平成 31 年 1 月 19 日

図 7.1.3-25 マント群落・ソデ群落の植生状況 (G)

b) 無障害物帯形成地の植生

Gの無障害物帯の生育・形成状況を表 7.1.3-26、図 7.1.3-26 に示した。

無障害物帯縁の植生の推移をみると、無障害物帯は樹木の伐採が行われた後、埋土種子からの発芽や周辺からの草本類の侵入、赤土対策による種子吹付シバによる植被率の増加がみられ、植生の回復が進んでいることを確認した。

評価図書においては、無障害物帯は早期緑化を行うこととしており、今年度は、植生がほぼ回復したと考えられが、次年度以降も存在・供用時の調査を実施し、その形成状況について把握することとする。以下に各調査地点の植生状況について整理した。

北側は、過年度の調査(平成29年度)において、草丈0.3~0.4m、植被率40~95%、出現種7~9種であった。今年度調査においては、草丈0.4~0.6m、植被率80~95%、出現種6~12種であった。過年度と比較すると、植被率が増加し、植生の回復が確認された。

南側は、過年度の調査(平成29年度)において、草丈0.3~0.6m、植被率50~70%、出現種7~8種であった。今年度調査においては、伸長により低木層と草本層に分化が見られ、低木層が高さ1.2m、植被率5%、出現種1種、草本層が高さ0.3~0.5m、植被率80~95%、出現種11~14種であった。過年度と比較すると、植被率が増加し、植生の回復が確認された。

東側は、過年度の調査(平成29年度)において、草丈0.3~0.4m、植被率70~80%、出現種9~12種であった。今年度調査においては、草丈0.5~0.6m、植被率85~100%、出現種8~18種であった。過年度と比較すると、植被率が増加し、植生の回復が確認された。

西側は、過年度の調査(平成29年度)において、低木層が高さ1.3m、植被率1未満~3%、出現種1~2種、草本層が高さ0.3~0.4m、植被率60~80%、出現種5~9種であった。今年度調査においては、低木層が高さ1.3m、植被率3~5%、出現種1種、草本層が高さ0.4~0.6m、植被率95~100%、出現種7~9種であった。過年度と比較すると、草本層の植被率が増加し、植生の回復が確認された。

表 7.1.3-26(1) 無障害物帯形成地の植生調査結果(G)

G 無障害物帯	北側								南側							
	H29年度			H30年度					H29年度			H30年度				
	7/22	10/19	12/22	6/2	9/18	11/2	1/19	7/22	10/19	12/22	6/2	9/18	11/2	1/19		
調査年月日																
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
調査区面積 (m ²)	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2		
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.2	1.2	1.2	1.2		
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	5	5	5		
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1		
草本層(H)の高さ (m)	0.3	0.3	0.4	0.4	0.6	0.6	0.6	0.3	0.4	0.6	0.3	0.3	0.3	0.5		
草本層(H)の植被率 (%)	95	40	60	80	95	95	95	50	70	70	80	80	95	95		
草本層(H)の出現数 (種)	7	7	9	12	7	6	6	7	8	8	14	11	14	14		
出現種数 (種)	7	7	9	12	7	6	6	7	8	8	14	11	14	14		
低木層 (S)																
S.1 リュウキュウチク												1・1	1・2	1・2	1・2	
S.2 テリミノイヌホオズキ																
草本層 (H)																
H.1 シバ	5・5	3・3	3・3	3・4	3・4	4・4	4・5	3・3	4・4	4・4	5・5	5・5	5・5	5・5		
H.2 ギョウギシバ		+	+2	+2	+2	+2	+	1・2	1・2	+2	1・2	+2	+2	+		
H.3 シロノセンダングサ		1・1	3・3	3・3	4・4	3・4	3・3					+	+	+2		
H.4 ダントボロギク			+	+				+2	+2	+2	1・2	+		+		
H.5 オオアブラガヤ	+	+		+												
H.6 チガヤ				+	1・2	2・2	2・2				+					
H.7 ベニバナボロギク	1・2	1・2	1・2	+2							1・2					
H.8 ササクサ	+2	+	+	+	+	+2	+									
H.9 クロガヤ		+	+	+2	+2	+2	+2	+						+		
H.10 ヒナギキョウ									+	+	+2					
H.11 オニタビラコ									+	+			+	+		
H.12 リュウキュウチク								+2	+2	1・2	+	+	+	+		
H.13 オキナワサルトリイバラ								+	+	+	+	+	+	+		
H.14 タチスズメノヒエ												+	+			
H.15 ヒメスイバ																
H.16 ニワゼキショウ			+					+			+		+	+		
H.17 ナガバカニクサ									+		+	+	+	+		
H.18 ホウキギク												+	+	+		
H.19 チチコグサ	+		+								+					
H.20 ササバサンキライ					+											
H.21 オヒシバ	+															
H.22 キバナニワゼキショウ				+							+2					
H.23 カタバミ											+		+	+		
H.24 ヒメブタナ											+					
H.25 アキノゲシ												+	+	+		
H.26 ホシダ	+															
H.27 タイワンハチジョウナ				+												
H.28 セイヨウタンポポ										+2						
H.29 オオアレチノギク													+	+		
H.30 アゼガヤツリ																

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5：被度が75～100%，4：被度が50～75%，3：被度が25～50%，2：被度が10～25%，1：被度が10%未満，+：被度が1%以下
群度→5：カベツト状に分布，4：カベツトに穴が開いた状態，3：大きな班を形成あるいはまだら状，2：班状に分布，1：小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-26(2) 無障害物帯形成地の植生調査結果(G)

G 無障害物帯	北側							南側						
	H29年度			H30年度				H29年度			H30年度			
	7/22	10/19	12/22	6/2	9/18	11/2	1/19	7/22	10/19	12/22	6/2	9/18	11/2	1/19
調査年月日														
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
調査区面積 (m ²)	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.2	1.2	1.2	1.2
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	5	5	5
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1
草本層(H)の高さ (m)	0.3	0.3	0.4	0.4	0.6	0.6	0.6	0.3	0.4	0.6	0.3	0.3	0.3	0.5
草本層(H)の植被率 (%)	95	40	60	80	95	95	95	50	70	70	80	80	95	95
草本層(H)の出現数 (種)	7	7	9	12	7	6	6	7	8	8	14	11	14	14
出現種数 (種)	7	7	9	12	7	6	6	7	8	8	14	11	14	14
草本層 (H)														
H. 31 センナリホウズキ														
H. 32 シマウリクサ														
H. 33 マツバゼリ														
H. 34 イヌムギ				+										
H. 35 オガサワラスズメノヒエ												+		
H. 36 ハスノハカズラ													+	
H. 37 オキナワズズメウリ														
H. 38 スベリヒユ														
H. 39 タカサブロウ														
H. 40 チョウジタデ														
H. 41 ヤエムグラ														
H. 42 キク sp.														
H. 43 コマツヨイグサ														
H. 44 ツメクサ														
H. 45 ヒメオニササガヤ														

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5：被度が75～100%, 4：被度が50～75%, 3：被度が25～50%, 2：被度が10～25%, 1：被度が10%未満, +：被度が1%以下
 群度→5：カベ状に分布, 4：カベ状に穴が開いた状態, 3：大きな班を形成あるいはまだら状, 2：班状に分布, 1：小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-26(3) 無障害物帯形成地の植生調査結果(G)

G 無障害物帯	東側								西側								出現回数
	H29年度			H30年度					H29年度			H30年度					
	7/22	10/19	12/22	6/2	9/18	11/2	1/19	7/22	10/19	12/22	6/2	9/18	11/1	1/19			
調査年月日																	
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
調査区面積 (m ²)	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	<1	<1	3	3	3	5	5			
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
草本層(H)の高さ (m)	0.4	0.3	0.4	0.5	0.6	0.6	0.6	0.3	0.4	0.4	0.4	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
草本層(H)の植被率 (%)	75	70	80	85	95	100	100	60	60	80	95	100	100	100	100	100	100
草本層(H)の出現数 (種)	12	9	11	18	8	10	8	5	9	9	9	8	7	7	7	7	7
出現種数 (種)	12	9	11	18	8	10	8	7	10	10	10	9	8	8	8	8	8
低木層 (S)																	
S.1 リュウキュウチク									+	+	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	11
S.2 テリミノイヌホオズキ									+								1
草本層 (H)																	
H.1 シバ	4・4	2・2	2・2	3・3	4・4	4・4	5・5	3・3	3・3	4・4	4・4	5・5	5・5	5・5	5・5	28	28
H.2 ギョウギシバ		4・4	4・4	3・4	2・3	2・3	1・2	1・2	2・2	2・2	2・2	1・2	+	+	+	26	26
H.3 シロノセダングサ				1・1	3・3	1・2	1・2		+	1・2	2・2	3・3	2・3	2・3		19	19
H.4 ダンドボロギク				+	+	+	+		+	1・2	1・2					15	15
H.5 オオアブラガヤ	+	+	+	+					+	+	+	+	+	+	+	14	14
H.6 チガヤ			+	+	1・1	3・3	3・3				+	1・2	3・3	3・3		14	14
H.7 ベニバナボロギク		+	+	+					+	1・2	1・2	1・2				12	12
H.8 ササクサ									+	+	+				+	11	11
H.9 クロガヤ												1・1	1・1	1・1		11	11
H.10 ヒナギキョウ			+	+						+	+	+	+			9	9
H.11 オニタビラコ		+	+	+	+	+										9	9
H.12 リュウキュウチク																7	7
H.13 オキナワサルトリイバラ																7	7
H.14 タチスズメノヒエ										+	1・1	1・1		+		6	6
H.15 ヒメスイバ	+	+	+	+		+	+									6	6
H.16 ニワゼキショウ																5	5
H.17 ナガバカニクサ																5	5
H.18 ホウキギク							+	+								5	5
H.19 チチコグサ	+															4	4
H.20 ササバサンキライ				+		+	+									4	4
H.21 オヒシバ	+	+														3	3
H.22 キバナニワゼキショウ				+												3	3
H.23 カタバミ																3	3
H.24 ヒメブタナ				+	+											3	3
H.25 アキノゲシ																3	3
H.26 ホシダ							+									2	2
H.27 タイワンハチジョウナ				+												2	2
H.28 セイヨウタンポポ			+													2	2
H.29 オオアレチノギク																2	2
H.30 アゼガヤツリ	+	+														2	2

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな斑を形成あるいはまだら状, 2: 斑状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-26(4) 無障害物帯形成地の植生調査結果(G)

G 無障害物帯	東側								西側								出現回数
	H29年度			H30年度					H29年度			H30年度					
	7/22	10/19	12/22	6/2	9/18	11/2	1/19	7/22	10/19	12/22	6/2	9/18	11/1	1/19			
調査年月日																	
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
調査区面積 (m ²)	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2
低木層(S)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
低木層(S)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	<1	<1	3	3	3	5	5	5	5	5
低木層(S)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
草本層(H)の高さ (m)	0.4	0.3	0.4	0.5	0.6	0.6	0.6	0.3	0.4	0.4	0.4	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
草本層(H)の植被率 (%)	75	70	80	85	95	100	100	60	60	80	95	100	100	100	100	100	100
草本層(H)の出現数 (種)	12	9	11	18	8	10	8	5	9	9	9	8	7	7	7	7	7
出現種数 (種)	12	9	11	18	8	10	8	7	10	10	10	9	8	8	8	8	8
草本層 (H)																	
H. 31 センナリホウズキ	+		+														2
H. 32 シマウリクサ		+	+														2
H. 33 マツバゼリ				+	+												2
H. 34 イヌムギ																	1
H. 35 オガサワラスズメノヒエ																	1
H. 36 ハスノハカズラ																	1
H. 37 オキナワスズメウリ	+・2																1
H. 38 スベリヒユ	+																1
H. 39 タカサブロウ	+																1
H. 40 チョウジタデ	+																1
H. 41 ヤエムグラ	+																1
H. 42 キク sp.				+													1
H. 43 コマツヨイグサ				+													1
H. 44 ツメクサ				+													1
H. 45 ヒメオニササガヤ								2・2									1

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
群度→5: かべつ状に分布, 4: かべつに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

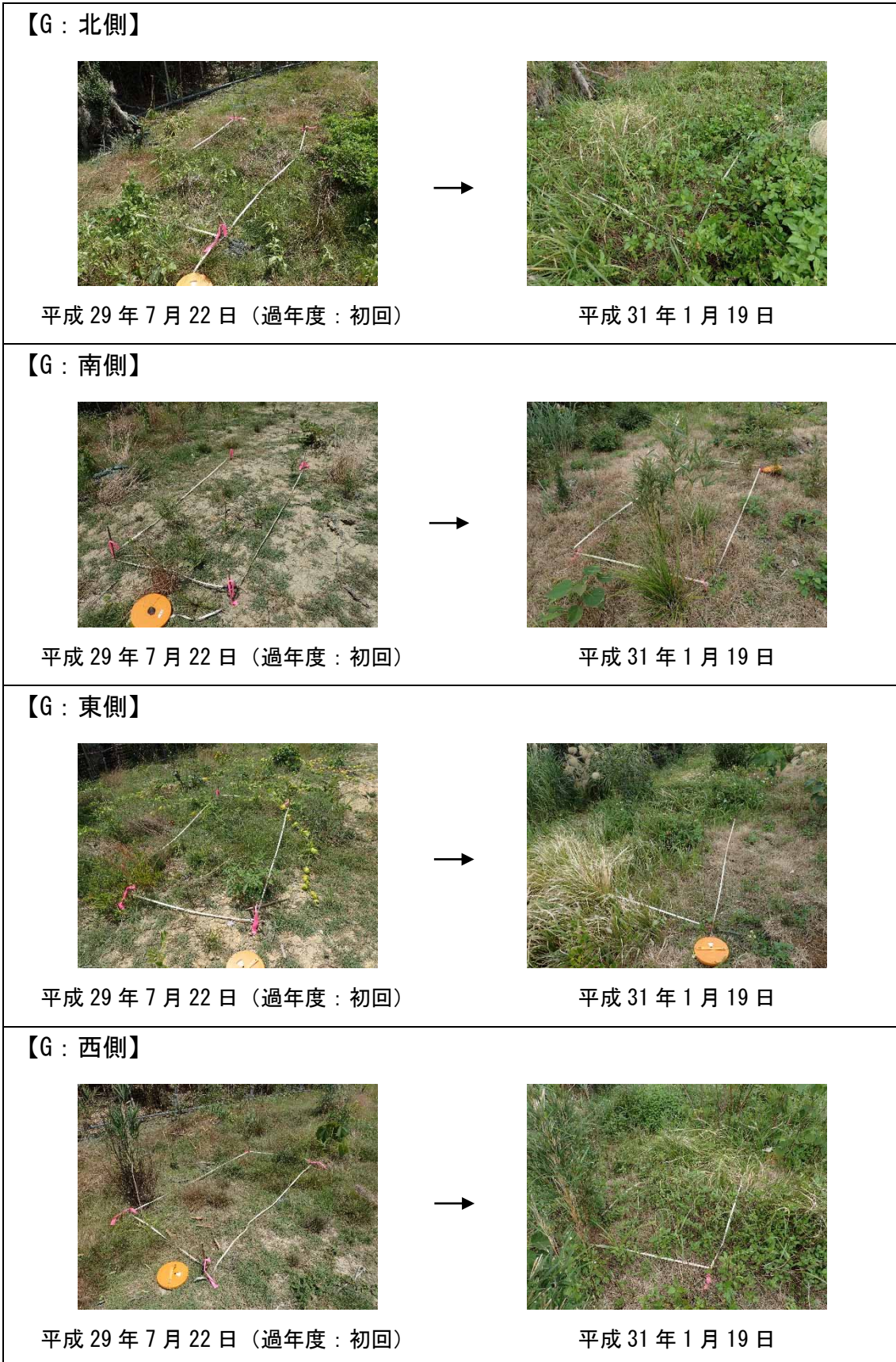


図 7.1.3-26 無障害物帯の植生状況の推移(G)

(2) G 進入路

a) マント群落・ソデ群落の生育状況

G 進入路のマント群落・ソデ群落の生育・形成状況を表 7.1.3-27、図 7.1.3-27 に示した。

G 進入路林縁のマント群落・ソデ群落については、評価図書に示す環境保全措置のとおり、林縁部においてリュウキュウチクの植栽を実施しているものの、生育状況が悪く、現時点において各地点ともマント群落・ソデ群落の形成は不十分であり、GSM1、GSM5 については、平成 31 年 1 月にリュウキュウチクの再移植をおこなっていることから、次年度以降も存在・供用時の調査を実施し、その形成状況について把握することとする。以下に各調査地点の植生状況について整理した。

GSM1 は、過年度の調査(平成 29 年度)において、亜高木層が高さ 8.0m、植被率 10%、出現種 1 種、低木層が高さ 4.5m、植被率 20~40%、出現種 3 種、草本層が高さ 0.5m、植被率 10%、出現種 11 種であった。今年度調査においては、亜高木層が高さ 8.0m、植被率 10%、出現種 1 種、低木層が高さ 2.5~4.5m、植被率 1~10%、出現種 2~5 種、草本層が高さ 0.5~1.0m、植被率 3~20%、出現種 7~13 種であった。過年度と比較すると、低木層で植被率が減少したほか、草本層についても減少傾向であったが、冬季にリュウキュウチクの再移植を行い植被率が増加した。

GSM2 は、過年度の調査(平成 29 年度)において、低木層が高さ 4.5m、植被率 20~30%、出現種 4~5 種、草本層が高さ 0.5m、植被率 3~20%、出現種 8~18 種であった。今年度調査においては、低木層が高さ 2~4.5m、植被率 3~10%、出現種 3~4 種、草本層が高さ 0.8~1.0m、植被率 5~10%、出現種 6~19 種であった。過年度と比較すると、低木層、草本層ともに植被率が減少していた。

GSM3 は、過年度の調査(平成 29 年度)において、亜高木層が高さ 6.0m、植被率 20%、出現種 1~2 種、低木層が高さ 4.0m、植被率 40%、出現種 9 種、草本層が高さ 0.8m、植被率 10%、出現種 11~16 種であった。今年度調査においては、亜高木層が高さ 6.0m、植被率 20%、出現種 1 種、低木層が高さ 4.0m、植被率 25~30%、出現種 9~10 種、草本層が高さ 0.8m、植被率 15%、出現種 18~22 種であった。過年度と比較すると、低木層で植被率が僅かに減少したほか、草本層においては植被率が僅かに増加していた。

GSM4 は、過年度の調査(平成 29 年度)において、低木層が高さ 3.0m、植被率 15%、出現種 1 種、草本層が高さ 0.5m、植被率 1%未満、出現種 10 種であった。今年度調査においては、低木層が高さ 1.5~4.5m、植被率 5~15%、出現種 1~2 種、草本層が高さ 0.5m、植被率 5%、出現種 13~19 種であった。過年度と比較すると、低木層で植被率が減少したほか、草本層においては、植被率が僅かに増加していた。

GSM5 は、過年度の調査(平成 29 年度)において、低木層が高さ 4.5m、植被率 15%、出現種 2 種、草本層が高さ 0.8m、植被率 5~10%、出現種 16~22 種であった。今

年度調査においては、低木層が高さ 2.0～4.5m、植被率 10～15%、出現種 1～4 種、草本層が高さ 0.8～1.0m、植被率 10～20%、出現種 17～22 種であった。過年度と比較すると、低木層で植被率が僅かに減少したほか、草本層については、冬季にリュウキュウチクの再移植を行い、植被率が増加した。

GSM6 は、過年度の調査(平成 29 年度)において、低木層が高さ 4.5m、植被率 15%、出現種 2 種、草本層が高さ 0.5m、植被率 1%未満～5%、出現種 4～5 種であった。今年度調査においては、低木層が高さ 4.5m、植被率 10～15%、出現種 2～5 種、草本層が高さ 0.7m、植被率 5～10%、出現種 10～13 種であった。過年度と比較すると、低木層で植被率が僅かに減少したほか、草本層については植被率が僅かに増加した。

表 7.1.3-27(1) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(G 進入路)

調査年月	GS進入路 マント群落・ソデ群落形成地																		
	GSM1						GSM2						GSM3						
	H29年度		H30年度				H29年度		H30年度				H29年度		H30年度				
	10/2	1/31	6/2	9/4	10/22	2/1	10/2	1/31	6/2	9/4	10/22	2/1	10/2	1/31	6/2	9/4	10/22	2/1	
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
傾斜 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
面積 (m ²)	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	
亜高木層(T2)の高さ (m)	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	-	-	-	-	-	-	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	
亜高木層(T2)の植被率 (%)	10	10	10	10	10	10	-	-	-	-	-	-	20	20	20	20	20	20	
亜高木層(T2)の出現種 (種)	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	2	1	1	1	1	1	
低木層(S)の高さ (m)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	2.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	2	4	4	4	4	4	4	
低木層(S)の植被率 (%)	40	20	10	10	1	1	30	20	10	10	3	3	40	40	30	30	25	25	
低木層(S)の出現種 (種)	3	3	5	3	2	2	5	4	4	4	3	3	9	9	10	10	10	9	
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.5	0.8	0.5	1.0	0.5	0.5	0.8	1.0	1.0	1.0	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	
草本層(H)の植被率 (%)	10	10	10	5	3	20	3	20	10	5	5	5	10	10	15	15	15	15	
草本層(H)の出現種 (種)	11	11	13	10	7	12	8	18	19	13	6	12	11	16	18	21	19	22	
出現種数 (種)	14	14	17	13	9	14	12	20	22	16	9	14	17	20	23	24	22	24	
亜高木層(T2)																			
T2.1 モッコク	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1													
T2.2 スダジイ(イタジイ)													2・1	2・1	2・1	2・1	2・1	2・1	
T2.3 ハナガサノキ													+						
低木層(S)																			
S.1 リュウキュウチク (移植株)	3・3	2・3	1・3	1・3			3・3	2・3	1・3	1・3			2・3	2・3	1・3	1・3	1・3		
S.2 タイミンタチバナ							+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
S.3 ハナガサノキ													1・2	+	+	+	+	+	
S.4 ヒメユズリハ	+	+	+	+	+	+	+	+											
S.5 ツゲモチ	+	+	+	+	+	+													
S.6 ギョクシンカ							+	+	+	+	+	+							
S.7 イスノキ													1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	
S.8 シラタマカズラ													1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	
S.9 ヤマヒハツ													1・1	1・1	1・1	1・1	+	+	
S.10 ヤブツバキ													+	+	+2	+2	+2	+2	
S.11 イヌマキ													+	+	+	+	+	+	
S.12 ミズバイ													+	+	+	+	+	+	
S.13 スダジイ(イタジイ)																			
S.14 リュウキュウモチ							+		+	+	+	+							
S.15 フカノキ																			
S.16 シマミサオノキ				+															
S.17 シロミミズ															+	+	+	+	
S.18 リュウキュウチク																			
S.19 モチノキ																			
S.20 オキナワサルトリイバラ																			
S.21 コバンモチ				+															
草本層(H)																			
H.1 スダジイ(イタジイ)	+	+	+	+	+	+				+		+	+	+	+	+	+	+	
H.2 ハナガサノキ	+	+	+	+	+	+			+	+	+		+	+	+	+	+	+	
H.3 シマミサオノキ	1・2	1・2	+	+	+	+			+	+			+	+	+	+		+	
H.4 ササクサ	+2	+2	1・2	+2	+	+			1・2	1・2	+2	+	+	+2	+2	1・2	+2	+2	+2
H.5 ヤマヒハツ	+	+				+			1・2	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.6 クロガヤ			+			+	+	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	
H.7 シバヤブニッケイ	+	+	+	+	+	+							+	+	+	+	+	+	
H.8 シラタマカズラ															+	+	+	+	
H.9 コシダ																			
H.10 イヌマキ													+	+	+	+	+	+	

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
群度→5: かへつ状に分布, 4: かへつに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-27(2) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(G 進入路)

調査年月	GSM1						GSM2						GSM3					
	H29年度		H30年度				H29年度		H30年度				H29年度		H30年度			
	10/2	1/31	6/2	9/4	10/22	2/1	10/2	1/31	6/2	9/4	10/22	2/1	10/2	1/31	6/2	9/4	10/22	2/1
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
傾斜 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
面積 (m ²)	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4
亜高木層(T2)の高さ (m)	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	-	-	-	-	-	-	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
亜高木層(T2)の植被率 (%)	10	10	10	10	10	10	-	-	-	-	-	-	20	20	20	20	20	20
亜高木層(T2)の出現種 (種)	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	2	1	1	1	1	1
低木層(S)の高さ (m)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	2.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	2	4	4	4	4	4	4
低木層(S)の植被率 (%)	40	20	10	10	1	1	30	20	10	10	3	3	40	40	30	30	25	25
低木層(S)の出現種 (種)	3	3	5	3	2	2	5	4	4	4	3	3	9	9	10	10	10	9
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.5	0.8	0.5	1.0	0.5	0.5	0.8	1.0	1.0	1.0	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
草本層(H)の植被率 (%)	10	10	10	5	3	20	3	20	10	5	5	5	10	10	15	15	15	15
草本層(H)の出現種 (種)	11	11	13	10	7	12	8	18	19	13	6	12	11	16	18	21	19	22
出現種数 (種)	14	14	17	13	9	14	12	20	22	16	9	14	17	20	23	24	22	24
草本層(H)																		
H.11 タイミンタチバナ							+	+	+				+2	+2	+	+	+	+
H.12 カクレミノ									+	+							+	+
H.13 アオバナハイノキ(ソウザンハイノキ)							+	+	+	+	+	+			+			
H.14 リュウキュウチク												+						
H.15 ヒメズリハ	+	+	+2	+2	+	+		+	+	+	+	+						
H.16 オニタビラコ																+	+	+
H.17 インドシャリンバイ	+	+	+	+	+	+												
H.18 オキナワサルトリイバラ			+	+		+												
H.19 リュウキュウモチ											+	+						
H.20 シロミズ	+	+	+	+									+	+		+	+	+
H.21 タブノキ							+	+	+									+
H.22 ヤブツバキ																	+	+
H.23 イスノキ	+	+					+	+	+	+			+					
H.24 エダウチホングウシダ													+	+	+	+	+	+
H.25 コバンモチ	+	+		+									+	+	+			
H.26 シバ			+							+	+							
H.27 マンリョウ							+	+										
H.28 カタバミ											+							
H.29 アデク							+	+	+	+					+			
H.30 ヤンバルミズバイ													+	+	+	+	+	+
H.31 クチナシ																+	+	+
H.32 モッコク																		
H.33 トベラ																		
H.34 ベニバナボロギク			+													+	+	
H.35 シロダモ								+	+	+	+	+						
H.36 コマツヨイグサ																		
H.37 リュウキュウチク (移植株)						3・3												
H.38 シロノセンダングサ						+						+						+
H.39 アメリカワロ								+				+						+
H.40 オオバギ								+							+			
H.41 ウスベニガナ									+						+	+	+	
H.42 ハルノグシ												+						+
H.43 タイワンルリミノキ													+	+	+			+
H.44 シシアクチ							+	+	+									
H.45 ムッチャガラ																+	+	+

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: かべツ状に分布, 4: かべツに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-27(3) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(G 進入路)

調査年月	GSM1							GSM2							GSM3						
	H29年度		H30年度					H29年度		H30年度					H29年度		H30年度				
	10/2	1/31	6/2	9/4	10/22	2/1	10/2	1/31	6/2	9/4	10/22	2/1	10/2	1/31	6/2	9/4	10/22	2/1			
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
傾斜 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
面積 (m ²)	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4		
亜高木層(T2)の高さ (m)	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	-	-	-	-	-	-	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0		
亜高木層(T2)の植被率 (%)	10	10	10	10	10	10	-	-	-	-	-	-	20	20	20	20	20	20	20		
亜高木層(T2)の出現種 (種)	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	2	1	1	1	1	1	1		
低木層(S)の高さ (m)	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	2.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	2	4	4	4	4	4	4	4		
低木層(S)の植被率 (%)	40	20	10	10	1	1	30	20	10	10	3	3	40	40	30	30	25	25	25		
低木層(S)の出現種 (種)	3	3	5	3	2	2	5	4	4	4	3	3	9	9	10	10	10	9	9		
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.5	0.8	0.5	1.0	0.5	0.5	0.8	1.0	1.0	1.0	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8		
草本層(H)の植被率 (%)	10	10	10	5	3	20	3	20	10	5	5	5	10	10	15	15	15	15	15		
草本層(H)の出現種 (種)	11	11	13	10	7	12	8	18	19	13	6	12	11	16	18	21	19	22	22		
出現種数 (種)	14	14	17	13	9	14	12	20	22	16	9	14	17	20	23	24	22	24	24		
草本層(H)																					
H. 46 ヒサカキ																					
H. 47 ダンドボロギク			+						1・2												
H. 48 リュウキュウマツ																					
H. 49 ツゲモチ																					
H. 50 ヒメジョオン																					
H. 51 モチノキ																					
H. 52 エゴノキ																					
H. 53 テリミノイヌホウズキ																					
H. 54 アキノナゲシ								+													
H. 55 シマニシキソウ									1・2												
H. 56 ススキ									+												
H. 57 ギイマ														+							
H. 58 フカノキ																					
H. 59 ギョウギシバ																					
H. 60 ハゼノキ																					
H. 61 クロバイ																					
H. 62 コバノニシキソウ																					
H. 63 メヒシバ																					
H. 64 タチスズメノヒエ																					
H. 65 カスマグサ																					

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: かへつ状に分布, 4: かへつに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

【G 進入路 : No. 1】



平成 29 年 10 月 2 日 (過年度 : 初回)



平成 31 年 2 月 1 日

【G 進入路 : No. 2】



平成 29 年 10 月 2 日 (過年度 : 初回)



平成 31 年 2 月 1 日

【G 進入路 : No. 3】



平成 29 年 10 月 2 日 (過年度 : 初回)



平成 31 年 2 月 1 日

図 7.1.3-27(1) マント群落・ソデ群落の植生状況(G 進入路)

【G 進入路 : No. 4】



平成 29 年 10 月 2 日 (過年度 : 初回)



平成 31 年 2 月 1 日

【G 進入路 : No. 5】



平成 29 年 10 月 2 日 (過年度 : 初回)



平成 31 年 2 月 1 日

【G 進入路 : No. 6】



平成 29 年 10 月 2 日 (過年度 : 初回)



平成 31 年 2 月 1 日

図 7.1.3-27(2) マント群落・ソデ群落の植生状況(G 進入路)

(3) H 地区

a) マント群落・ソデ群落の生育状況

H のマント群落・ソデ群落の生育・形成状況を表 7.1.3-28、図 7.1.3-28 に示した。

無障害物帯縁のマント群落・ソデ群落については、評価図書に示す環境保全措置のとおり、林縁部においてリュウキュウチクの植栽を実施しているものの、生育状況が悪く、現時点において各地点ともマント群落・ソデ群落の形成は不十分であったことから、次年度以降も存在・供用時の調査を実施し、その形成状況について把握することとする。以下に各調査地点の植生状況について整理した。

北側は、過年度の調査(平成 29 年度)において、低木層が高さ 5.5m、植被率 20%、出現種 4~5 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 10~20%、出現種 22~23 種であった。今年度調査においては、低木層が高さ 5.5m、植被率 25~30%、出現種 5~8 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 25~40%、出現種 23~25 種であった。過年度と比較すると、低木層、草本層ともに植被率が増加傾向であった。

南側は、過年度の調査(平成 29 年度)において、低木層が高さ 4.5m、植被率 20%、出現種 6~9 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 10%、出現種 22~23 種であった。今年度調査においては、低木層が高さ 4.5m、植被率 25~35%、出現種 10~14 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 20~40%、出現種 24~28 種であった。過年度と比較すると、低木層、草本層ともに植被率が増加傾向であった。

東側は、過年度の調査(平成 29 年度)において、亜高木層が高さ 7.0m、植被率 10%、出現種 2 種、低木層が高さ 3.5m、植被率 20~60%、出現種 5 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 15%、出現種 17~18 種であった。今年度調査においては、亜高木層が高さ 7.0m、植被率 10~20%、出現種 2 種、低木層が高さ 3.5m、植被率 20%、出現種 5~6 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 20~25%、出現種 17~22 種であった。過年度と比較すると、低木層、草本層ともに植被率が増加傾向であった。

西側は、過年度の調査(平成 29 年度)において、低木層が高さ 4.0m、植被率 30%、出現種 3~4 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 5%、出現種 14~16 種であった。今年度調査においては、低木層が高さ 4.0m、植被率 30%、出現種 4~5 種、草本層が高さ 1.0m、植被率 5%、出現種 19~23 種であった。過年度と比較すると、低木層、草本層ともに植被率に変化は無かった。

表 7.1.3-28(1) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(H)

調査年月	H マント群落・ソデ群落形成地															
	北側								南側							
	H28年		H29年			H30年			H28年		H29年			H30年		
	11/24	7/21	10/12	12/20	6/7	9/18	11/1	1/25	11/25	7/21	10/12	12/20	6/7	9/18	11/1	1/25
方位	E	E	E	E	E	E	E	E	-	-	-	-	-	-	-	-
傾斜角度 (°)	5	5	5	5	5	5	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-
調査区面積 (m ²)	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
亜高木層(T2)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の高さ (m)	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
低木層(S)の植被率 (%)	50	20	20	20	25	25	30	30	50	20	20	20	25	25	30	35
低木層(S)の出現数 (種)	4	4	4	5	5	5	8	7	4	9	7	6	10	12	12	14
草本層(H)の高さ (m)	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
草本層(H)の植被率 (%)	5	10	15	20	25	30	40	40	1	10	10	10	20	30	40	30
草本層(H)の出現数 (種)	13	22	23	22	23	25	23	23	4	22	22	23	26	24	27	28
出現種数 (種)	16	24	25	24	24	26	25	25	7	26	24	26	31	31	31	32
亜高木層(T2)																
T2.1 モッコク																
T2.2 タイミンタチバナ																
低木層(S)																
S.1 リュウキュウチク (移植株)	3-3	2-3	2-3	1-2	2-2	2-2	2-2	2-2	3-3	2-3	2-3	+2	+2	+2	+	+
S.2 イスノキ	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2
S.3 タイミンタチバナ	+	+	+	+	+	+	+	+			+		+	+	+	+
S.4 リュウキュウチク				1-1	1-2	1-2	1-2	1-2		+	+	+	+	+	1-1	1-1
S.5 コバンモチ									+	+	+	+	1-1	1-1	1-1	1-1
S.6 ハナガサノキ					+	+	+	+		+			+	+		
S.7 アデク							+			+						+
S.8 カクレミノ	+	+	+	+							+	+	+	+	+	+
S.9 シマミサオノキ									+	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1	1-1
S.10 シラタマカズラ																
S.11 ヤマビハツ																
S.12 シバヤブニッケイ							+	+		+			+	+	+	+
S.13 イジロ							+	+						+	+	+
S.14 ミズバイ										+			+	+	+	+
S.15 リュウキュウモチ														+	+	+
S.16 イヌガシ															+	+
S.17 リュウキュウチク (再移植)																1-2
草本層(H)																
H.1 ササクサ	+2	+2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2	1-2		1-2	1-2	1-2	2-2	2-2	3-3	2-2
H.2 ハナガサノキ	+	+	+	+	+	+	+	+2			+	+	+	+	+	+
H.3 アデク	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.4 クロガヤ		+	+	+	+2	+2	+2	+2		+	+	+	+2	+2	+2	1-2
H.5 オキナワサルトリイバラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.6 リュウキュウモチ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.7 ヒメユズリハ	+	+	+	+	+	+	+	+					+			
H.8 マンリョウ		+			+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.9 シラタマカズラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.10 タイミンタチバナ									+	+	+	+	+	+	+	+
H.11 ササバサンキライ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
H.12 コバンモチ			+		+	+	+	+	+	+	+				+	
H.13 イスノキ		+	+	+	+	+	+2	+2		+	+	+	1-1	1-1	1-1	1-1
H.14 シンエダウチホングウシダ				+	+	+	+	+		+	+	+	+	+	+2	+2
H.15 キョクシンカ		+	+	+	+	+	+	+				+	+	+	+	+

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カベツトに分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-28(2) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(H)

調査年月	H マント群落・ソデ群落形成地															
	北側								南側							
	H28年		H29年				H30年		H28年		H29年				H30年	
	11/24	7/21	10/12	12/20	6/7	9/18	11/1	1/25	11/25	7/21	10/12	12/20	6/7	9/18	11/1	1/25
方位	E	E	E	E	E	E	E	E	-	-	-	-	-	-	-	-
傾斜角度 (°)	5	5	5	5	5	5	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-
調査区面積 (m ²)	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
亜高木層(T2)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の高さ (m)	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
低木層(S)の植被率 (%)	50	20	20	20	25	25	30	30	50	20	20	20	25	25	30	35
低木層(S)の出現数 (種)	4	4	4	5	5	5	8	7	4	9	7	6	10	12	12	14
草本層(H)の高さ (m)	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
草本層(H)の植被率 (%)	5	10	15	20	25	30	40	40	1	10	10	10	20	30	40	30
草本層(H)の出現数 (種)	13	22	23	22	23	25	23	23	4	22	22	23	26	24	27	28
出現種数 (種)	16	24	25	24	24	26	25	25	7	26	24	26	31	31	31	32
草本層(H)																
H. 16 スダジイ(イタジイ)	+	+	+	+	+	+	+	+		+	+2	+2	+2	+2	+2	+2
H. 17 アカメガシワ										+	+	+	+	+	+	+
H. 18 シバヤブニッケイ	+	+	+	+	+	+	+	+								+
H. 19 コシダ		+	+2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2								
H. 20 カクレミノ										+	+	+	+	+	+	+
H. 21 インドシャリンバイ		+								+	+	+	+	+	+	+
H. 22 イジュ		+	+		1・1	1・1				+	+	+	+	+	+	+
H. 23 ヤマヒハツ			+	+	+	+	+	+			+	+	+	+	+	+
H. 24 シロミミズ															+	
H. 25 リュウキュウチク	+	+2	+2	+	+	+	+2	+2		+						
H. 26 モクレイシ	+	+	+	+	+	+	+	+								
H. 27 ウラジロカコノキ			+							+	+	+	+	+	+	+
H. 28 トベラ										+				+	+	+
H. 29 ヒサカキ														+	+	+
H. 30 タブノキ	+				+	+	+	+								
H. 31 トキワカメツル	+	+	+	+		+	+	+								
H. 32 アオバナハイノキ(ソウザンハイノキ)				+	+	+	+	+								
H. 33 ツゲモチ										+	+	+	+	+	+	+
H. 34 ホルトノキ(モガシ)	+									+	+	+	+	+	+	+
H. 35 シロノセンダングサ															+	+
H. 36 ギイマ																
H. 37 コバナヒメハギ		+	+		+2	1・2	1・2	1・2								
H. 38 ヘクソカズラ			+	+												
H. 39 オオバギ				+												
H. 40 ヒョウタンカズラ																
H. 41 ムッチャガラ										+		+	+		+	
H. 42 シママサオノキ															+	+
H. 43 ハゼノキ																
H. 44 ソテツ																
H. 45 トクサラン		+														
H. 46 シシアクチ															+	
H. 47 サザンカ																+
H. 48 チガヤ																
H. 49 ススキ																
H. 50 イヌガシ																
H. 51 エゴノキ																

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-28(3) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(H)

調査年月	マント群落・ソデ群落形成地																出現回数
	東側								西側								
	H28年		H29年		H30年				H28年		H29年		H30年				
	11/26	7/21	10/12	12/20	6/7	9/18	11/1	1/25	11/25	7/21	10/12	12/20	6/7	9/18	11/1	1/25	
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	W	W	W	W	W	W	W	W	
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	5	5	5	5	5	5	5	5	
調査区面積 (m ²)	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
亜高木層(T2)の高さ (m)	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
亜高木層(T2)の植被率 (%)	10	10	10	10	20	20	10	10	-	-	-	-	-	-	-	-	
亜高木層(T2)の出現数 (種)	2	2	2	2	2	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
低木層(S)の高さ (m)	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	
低木層(S)の植被率 (%)	60	60	40	20	20	20	20	20	30	30	30	30	30	30	30	30	
低木層(S)の出現数 (種)	5	5	5	5	6	6	6	5	3	3	4	4	4	4	4	5	
草本層(H)の高さ (m)	1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
草本層(H)の植被率 (%)	10	15	15	15	20	20	20	25	5	5	5	5	5	5	5	5	
草本層(H)の出現数 (種)	13	17	18	18	21	22	17	18	19	14	15	16	20	23	19	23	
出現種数 (種)	17	21	20	20	23	24	20	20	22	17	18	18	22	24	20	23	
亜高木層(T2)																	
T2.1 モッコク	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1									
T2.2 タイミンタチバナ	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	+	+									
低木層(S)																	
S.1 リュウキュウチク (移植株)	3・4	2・3	2・3	+2	+2	+2	+		2・3	2・3	2・3	2・3	1・3	1・3	1・3	1・2	
S.2 イスノキ									1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	
S.3 タイミンタチバナ	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1									
S.4 リュウキュウチク											1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	
S.5 コバンモチ	+	+	+	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1									
S.6 ハナガサノキ					+	+	+	+									
S.7 アデク	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1									
S.8 カクレミノ																	
S.9 シマミサオノキ																	
S.10 シラタマカズラ	+	+	+	+	+	+	+	+									
S.11 ヤマヒハツ									+	+	+	+	1・1	1・1	1・1	1・1	
S.12 シバヤブニッケイ																	
S.13 イジュ																	
S.14 ミズバイ																	
S.15 リュウキュウモチ																	
S.16 イヌガシ																	
S.17 リュウキュウチク (再移植)																+2	
草本層(H)																	
H.1 ササクサ	+	+	+	+2	1・2	1・2	1・2	1・2	+	+	+	+	+	+	+	+	
H.2 ハナガサノキ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+2	+	
H.3 アデク			+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+2	+	
H.4 クロガヤ	+	+	+	+	+2	+2	+2	1・2	+		+	+	+	+		+	
H.5 オキナワサルトリイバラ	+	+	+	+	+	+	+	+			+	+	+	+		+	
H.6 リュウキュウモチ					+	+	+	+	+	+	+	+		+	+	+	
H.7 ヒメユズリハ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
H.8 マンリョウ		+	+	+	+	+	+	+			+	+	+	+	+	+	
H.9 シラタマカズラ			+	+	+	+	+	+									
H.10 タイミンタチバナ	+2	+	+	+	+2	+2	+2	+2	+				+	+	+	+	
H.11 ササバサンキライ			+	+	+	+	+	+						+			
H.12 コバンモチ	+	+	+	+	+	+			+	+				+	+	+	
H.13 イスノキ													+	+	+	+	
H.14 シンエダウチホングウシダ									+	+	+	+	+	+	+2	+2	
H.15 ギョクシンカ	+	+	+	+	+	+											

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-28(4) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(H)

調査年月	マント群落・ソデ群落形成地																出現回数
	東側								西側								
	H28年		H29年		H30年				H28年		H29年		H30年				
	11/26	7/21	10/12	12/20	6/7	9/18	11/1	1/25	11/25	7/21	10/12	12/20	6/7	9/18	11/1	1/25	
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	W	W	W	W	W	W	W	W	
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	5	5	5	5	5	5	5	5	
調査区面積 (m ²)	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
亜高木層(T2)の高さ (m)	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
亜高木層(T2)の植被率 (%)	10	10	10	10	20	20	10	10	-	-	-	-	-	-	-	-	
亜高木層(T2)の出現数 (種)	2	2	2	2	2	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
低木層(S)の高さ (m)	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	
低木層(S)の植被率 (%)	60	60	40	20	20	20	20	20	30	30	30	30	30	30	30	30	
低木層(S)の出現数 (種)	5	5	5	5	6	6	6	5	3	3	4	4	4	4	4	5	
草本層(H)の高さ (m)	1	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
草本層(H)の植被率 (%)	10	15	15	15	20	20	20	25	5	5	5	5	5	5	5	5	
草本層(H)の出現数 (種)	13	17	18	18	21	22	17	18	19	14	15	16	20	23	19	23	
出現種数 (種)	17	21	20	20	23	24	20	20	22	17	18	18	22	24	20	23	
草本層(H)																	
H. 16 スダジイ(イタジイ)									++2		+						
H. 17 アカメガシワ	+			+	+	+	+	+					+	+	+	+	
H. 18 シバヤブニッケイ									+	+	+	+	+	+		+	
H. 19 コシダ	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2									
H. 20 カクレミノ									+	+	+	+	+	+	++2	++2	
H. 21 インドシャリンバイ	+	+		+	+	+	+	+									
H. 22 イジユ									+					+	+		
H. 23 ヤマヒハツ																+	
H. 24 シロミミズ	+	+	+	+	+	+	+	+		+	+		+			+	
H. 25 リュウキュウチク															+	+	
H. 26 モクレイシ		+			+	+											
H. 27 ウラジロカンコノキ									+	+							
H. 28 トベラ		+			+	+	+	+									
H. 29 ヒサカキ											+	+	+	+	+	+	
H. 30 タブノキ	+	+												+		+	
H. 31 トキワカモメヅル																	
H. 32 アオバナハイノキ(ソウザンハイノキ)				+					+	+							
H. 33 ツゲモチ									+								
H. 34 ホルトノキ(モガシ)																	
H. 35 シロノセンダングサ							+								+	+	
H. 36 ギイマ		+	+	+	+	+	+	+									
H. 37 コバナヒメハギ																	
H. 38 ヘクソカズラ		+	+		+	+											
H. 39 オオバギ			+									+		+	+		
H. 40 ヒョウタンカズラ										+	+	+	+	+			
H. 41 ムッチャガラ																	
H. 42 シマミサオノキ			+						+								
H. 43 ハゼノキ														+	+	+	
H. 44 ソテツ														+	+	+	
H. 45 トクサラン																	
H. 46 シシアクチ																	
H. 47 サザンカ																	
H. 48 チガヤ							+										
H. 49 ススキ								+									
H. 50 イヌガシ									+								
H. 51 エゴノキ										+							

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

【H：北側】



平成 28 年 11 月 24 日（過年度：初回）



平成 31 年 1 月 25 日

【H：南側】



平成 28 年 11 月 25 日（過年度：初回）



平成 31 年 1 月 25 日

【H：東側】



平成 28 年 11 月 26 日（過年度：初回）



平成 31 年 1 月 25 日

【H：西側】



平成 28 年 11 月 25 日（過年度：初回）



平成 31 年 1 月 25 日

図 7.1.3-28 マント群落・ソデ群落の植生状況 (H)

b) 無障害物帯形成地の植生

Hの無障害物帯の生育・形成状況を表 7.1.3-29、図 7.1.3-29 に示した。

無障害物帯縁の植生の推移をみると、無障害物帯は樹木の伐採が行われた後、埋土種子からの発芽や周辺からの草本類の侵入、赤土対策による種子吹付シバや張芝による植被率の増加がみられ、植生の回復が進んでいることを確認した。

評価図書においては、無障害物帯は早期緑化を行うこととしているが、一部で形成が不十分であったことから、次年度以降も存在・供用時の調査を実施し、その形成状況について把握することとする。以下に各調査地点の植生状況について整理した。

北側は、過年度の調査(平成29年度)において、草丈0.3~0.8m、植被率50~95%、出現種4~6種であった。今年度調査においては、草丈0.3~1.0m、植被率60~80%、出現種4~7種であった。過年度と比較すると、植被率は概ね横ばいで推移していた。

南側は、過年度の調査(平成29年度)において、草丈0.2m、植被率60~75%、出現種3~12種であった。今年度調査においては、草丈0.3~0.8m、植被率70~80%、出現種8~17種であった。過年度と比較すると、植被率は増加し、植生の回復が確認された。

東側は、過年度の調査(平成29年度)において、草丈0.1m、植被率100%、出現種4~6種であった。今年度調査において、草丈0.3~0.6m、植被率100%、出現種3~7種であった。過年度から継続して、芝張りされた草本類のシバが優占し、植生の回復が確認された。

西側は、過年度の調査(平成29年度)において、草丈0.1~0.2m、植被率100%、出現種3~4種であった。今年度調査においては、草丈0.2m、植被率100%、出現種3~5種であった。過年度から継続して、芝張りされた草本類のシバが優占し、植生の回復が確認された。

表 7.1.3-29(1) 無障害物帯形成地の植生調査結果(H)

H 無障害物帯	北側								南側							
	H29年			H30年					H29年			H30年				
	7/21	10/12	12/20	6/7	9/18	11/1	1/25	7/21	10/12	12/20	6/7	9/18	11/1	1/25		
調査年月	NE	NE	NE	NE	NE	NE	NE	S	S	S	S	S	S	S		
方位	10	10	10	10	10	10	10	5	5	5	5	5	5	5		
傾斜角度 (°)	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2		
調査区面積 (m ²)	0.3	0.8	0.8	1.0	1.0	0.7	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3	0.8	0.8	0.6		
草本層(H)の高さ (m)	95	50	80	70	80	80	60	60	75	70	70	70	75	80		
草本層(H)の植被率 (%)	5	4	6	7	6	7	4	3	8	12	17	10	9	8		
出現種数 (種)	草本層(H)															
H.1 シバ		+	2					1・2	3・3	2・2	2・2	2・2	3・3	3・3		
H.2 シロノセンダングサ				3・3	5・5	5・5	4・4				1・2	2・2	2・2	3・3		
H.3 ハマスゲ																
H.4 ギョウギシバ		1・2	+	+	+	+				3・3	3・4	3・4	3・3	3・3		
H.5 タカサブロウ								1・1	2・2							
H.6 キバナニワゼキショウ	+		+	+		+				+	+	+		+		
H.7 カタバミ										+						
H.8 オオアブラガヤ	+	+	+	+	+	+										
H.9 ベニバナボロギク	+	3・3	5・5	2・2							+					
H.10 ダンドボロギク			+							+	+					
H.11 コバノシキソウ									3・3		+	+				
H.12 シマニシキソウ									1・1	1・2	+	+	+			
H.13 オキナワサルトリイバラ										+	+	+	+	+		
H.14 ケニオイグサ																
H.15 チガヤ							+					+	+	1・2		
H.16 ヤマグワ										+	+		+	+		
H.17 ホウキギク			+	1・2	+											
H.18 ホシダ				+	+	+										
H.19 メヒシバ									+	+	+					
H.20 オオアレチノギク											1・2	1・2	+	2		
H.21 コバンモチ					+	+										
H.22 トキワハゼ									1・1	+						
H.23 ヒメブタナ										+	+					
H.24 ギンギシ sp.										+	+					
H.25 コマツヨイグサ											+	+				
H.26 ヒナギキョウ											+		+			
H.27 ヒメオニササガヤ	5・5															
H.28 アラゲヒメワラビ	+															
H.29 ヒメジョオン						+										
H.30 ササクサ							+									
H.31 コバナヒメハギ							+									
H.32 スズメノカタビラ								3・4								
H.33 チョウジタデ									+							
H.34 ハマサルトリイバラ									+							
H.35 ハイニシキソウ											+					
H.36 ホソバワダン														+		
H.37 ツメクサ																

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カベット状に分布, 4: カベットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-29(2) 無障害物帯形成地の植生調査結果(H)

調査年月	東側								西側								出現回数
	H29年			H30年					H29年			H30年					
	7/21	10/12	12/20	6/8	9/18	11/1	1/25	7/21	10/12	12/20	6/8	9/18	11/1	1/25			
方位	E	E	E	E	E	E	E	W	W	W	W	W	W	W			
傾斜角度 (°)	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45			
調査区面積 (m ²)	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2	1×2			
草本層(H)の高さ (m)	0.1	0.1	0.1	0.3	0.6	0.4	0.4	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2			
草本層(H)の植被率 (%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100			
出現種数 (種)	4	5	6	7	5	5	3	3	3	3	4	5	4	5	3		
草本層(H)																	
H.1 シバ	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	22		
H.2 シロノセンダングサ	+	+	1・2	2・2	2・2	2・2	2・2			+	+	+	+	+	20		
H.3 ハマスゲ	+・2	1・2	+・2	+・2	+・2	+・2		1・2	1・2	+・2	+・2	+・2	+・2		12		
H.4 ギョウギシバ															10		
H.5 タカサブロウ								+	+	+	+	+	+	+	9		
H.6 キバナニワゼキショウ															8		
H.7 カタバミ	+・2	+	+	+	+	+					+				8		
H.8 オオブラガヤ															6		
H.9 ヘニバナボロギク															5		
H.10 ダンドボロギク							+							+	5		
H.11 コバノシキソウ			+	+											5		
H.12 シマニシキソウ															5		
H.13 オキナワサルトリイバラ															5		
H.14 ケニオイグサ		+	+	+	+	+									5		
H.15 チガヤ															4		
H.16 ヤマグワ															4		
H.17 ホウキギク															3		
H.18 ホシダ															3		
H.19 メヒシバ															3		
H.20 オオアレチノギク															3		
H.21 コバンモチ															2		
H.22 トキワハゼ															2		
H.23 ヒメブタナ															2		
H.24 ギシギシ sp.															2		
H.25 コマツヨイグサ															2		
H.26 ヒナギキョウ															2		
H.27 ヒメオニササガヤ															1		
H.28 アラゲヒメワラビ															1		
H.29 ヒメジョオン															1		
H.30 ササクサ															1		
H.31 コバナヒメハギ															1		
H.32 スズメノカタビラ															1		
H.33 チョウジタデ															1		
H.34 ハマサルトリイバラ															1		
H.35 ハイニシキソウ															1		
H.36 ホソバワダン															1		
H.37 ツメクサ				+											1		

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カへット状に分布, 4: カへットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

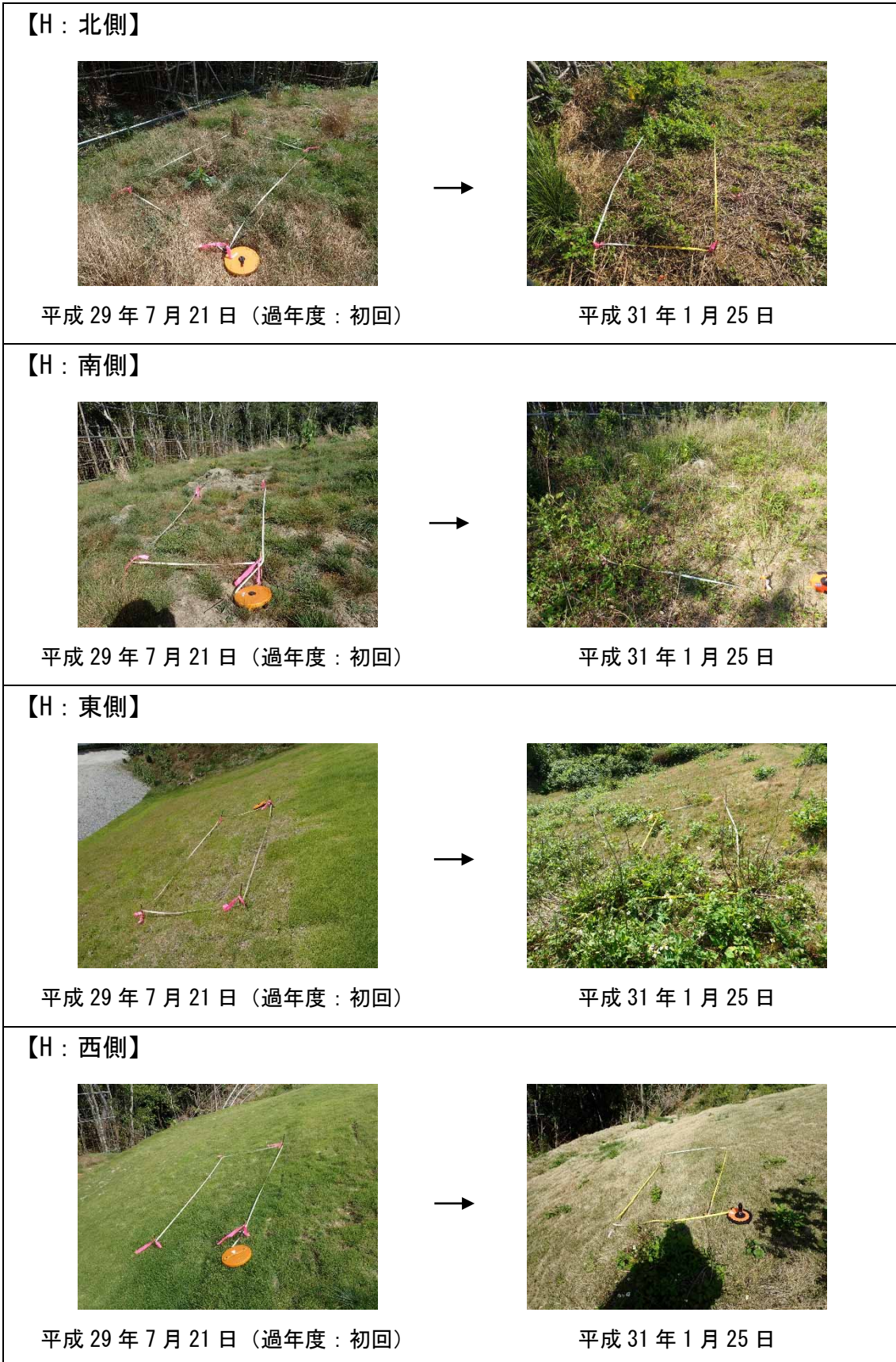


図 7.1.3-29 無障害物帯の植生状況の推移(H)

(4) N-1

a) N-1(a)

(a) マント群落・ソデ群落の生育状況

N-1(a)のマント群落・ソデ群落の生育・形成状況を表 7.1.3-30、図 7.1.3-30に示した。

無障害物帯縁のマント群落・ソデ群落については、評価図書に示す環境保全措置のとおり、既存のマント群落・ソデ群落が形成されていた東側を除く3地点で、林縁部においてリュウキュウチクの植栽を実施しているものの、マント群落・ソデ群落の形成は不十分であった。次年度以降も存在・供用時の調査を実施し、その形成状況について把握することとする。以下に各調査地点の植生状況について整理した。

北側は、過年度の調査(平成29年度)において、低木層が高さ2.5m、植被率60%、出現種3種、草本層が高さ0.5m、植被率10%、出現種17~19種であった。今年度調査においては、低木層が高さ2.5m、植被率60%、出現種3~4種、草本層が高さ0.5m、植被率10~15%、出現種16~19種であった。過年度と比較すると、草本層の植被率が僅かに増加していた。

南側は、過年度の調査(平成29年度)において、高木層が高さ8.5m、植被率5%、出現種1種、亜高木層が高さ6m、植被率が20~75%、出現種7種、低木層が高さ2.5m、植被率10~40%、出現種8種、草本層が高さ1m、植被率40~50%、出現種27~28種であった。今年度調査においては、高木層が高さ8.5m、植被率20%、出現種1種、亜高木層が高さ6m、植被率が10~30%、出現種5種、低木層が高さ2.5m、植被率10~20%、出現種5~6種、草本層が高さ1.0m、植被率40~50%、出現種28~35種であった。過年度と比較すると、高木層及び亜高木層において植被率の減少が確認されたほか、低木層及び草本層については、植被率の増加傾向が見られた。

東側は、過年度の調査(平成29年度)において、亜高木層が高さ5m、植被率が25%、出現種2~3種、低木層が高さ2.5m、植被率30~50%、出現種3~8種、草本層が高さ1m、植被率10%、出現種17~19種であった。今年度調査においては、亜高木層が高さ5m、植被率が20%、出現種2種、低木層が高さ2.5m、植被率30~40%、出現種3~4種、草本層が高さ1m、植被率10~15%、出現種18~21種であった。過年度と比較すると、亜高木層の植被率が僅かに減少したほか、低木層及び草本層については植被率の僅かな増加傾向が見られた。

西側は、過年度の調査(平成29年度)において、低木層が高さ2m、植被率25%、出現種3~4種、草本層が高さ0.5~0.7m、植被率20%、出現種21~27種であった。今年度調査においては、低木層が高さ2m、植被率30%、出現種4~5種、草本層が高さ0.5~0.8m、植被率30~40%、出現種32~37種であった。過年度と比較すると、低木層及び草本層ともに、植被率の僅かな増加が見られた。

表 7.1.3-30(1) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-1(a))

調査年月	北側								南側									
	H28年度	H29年度				H30年度				H28年度	H29年度				H30年度			
	11/1	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/22	2/12	11/1	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/22	2/12		
方位	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	
傾斜角度 (°)	40	40	40	40	40	40	40	40	5	5	5	5	5	5	5	5		
調査区面積 (m ²)	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4		
高木層(T1)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5		
高木層(T1)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	25	25	25	25	20	20	20	20		
高木層(T1)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1		
亜高木層(T2)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0		
亜高木層(T2)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	75	75	70	20	10	30	10	10		
亜高木層(T2)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	7	7	7	7	5	5	5	5		
低木層(S)の高さ (m)	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5		
低木層(S)の植被率 (%)	50	60	60	60	60	60	60	60	40	40	40	10	10	20	20	20		
低木層(S)の出現数 (種)	4	3	3	3	4	3	3	3	10	8	8	8	5	5	5	4		
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
草本層(H)の植被率 (%)	10	10	10	10	10	15	15	15	50	50	50	40	40	50	50	50		
草本層(H)の出現数 (種)	17	19	17	17	19	19	16	19	21	26	28	27	35	31	28	30		
出現種数 (種)	19	20	18	18	21	20	18	21	26	29	31	29	36	33	30	32		
高木層(T1)																		
T1.1 スダジイ(イタジイ)									2・1	2・1	2・1	2・1	2・1	2・1	2・1	2・1		
亜高木層(T2)																		
T2.1 アデク									1・1	1・1	1・1	+	+	1・1				
T2.2 ヒメユズリハ									2・2	2・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・1	1・1		
T2.3 イスノキ									1・1	1・1	1・1	1・1	+	1・1	+	+		
T2.4 イヌマキ									1・1	1・1	1・1	+	+	1・1	1・1	1・1		
T2.5 ギイマ									+	+	+	+	+	+	+	+		
T2.6 タイミンタチバナ									3・3	3・3	3・3	+2			+	+		
T2.7 ハナガサノキ																		
T2.8 コバンモチ									1・1	1・1	1・1	+						
T2.9 ギョクシンカ																		
T2.10 フカノキ																		
T2.11 モクレイシ																		
低木層(S)																		
S.1 リュウキュウチク (移植株)	3・4	4・4	3・4	3・4	3・4	3・4	3・4	3・4	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	2・2	2・2	2・2		
S.2 アデク	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	+	+	+	+						
S.3 リュウキュウチク															+	+		
S.4 イスノキ									1・2	1・2	1・2	+2	+	1・1	+	+		
S.5 シバヤブニッケイ	+	+	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1										
S.6 ムツチャガラ									+	+	+	+	+	+	+	+		
S.7 シラタマカズラ									+	+	+	+				+		
S.8 タイミンタチバナ									+				+2	+	+			
S.9 コバンモチ									1・2	+	+	+	+	+	+			
S.10 ギョクシンカ									+	1・1	1・1	+						
S.11 ヒメユズリハ																		
S.12 ヒサカキ																		
S.13 フカノキ																		
S.14 リュウキュウアウドウシ									1・2	1・2	1・2	+2						
S.15 ヤマヒハツ	1・1																	

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: かべツト状に分布, 4: かべツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-30(2) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-1(a))

調査年月	北側								南側									
	H28年度	H29年度				H30年度				H28年度	H29年度				H30年度			
	11/1	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/22	2/12	11/1	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/22	2/12		
方位	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W		
傾斜角度 (°)	40	40	40	40	40	40	40	40	5	5	5	5	5	5	5	5		
調査区面積 (m ²)	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4		
高木層(T1)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5		
高木層(T1)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	25	25	25	25	20	20	20	20		
高木層(T1)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1		
亜高木層(T2)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0		
亜高木層(T2)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	75	75	70	20	10	30	10	10		
亜高木層(T2)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	7	7	7	7	5	5	5	5		
低木層(S)の高さ (m)	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5		
低木層(S)の植被率 (%)	50	60	60	60	60	60	60	60	40	40	40	10	10	20	20	20		
低木層(S)の出現数 (種)	4	3	3	3	4	3	3	3	10	8	8	8	5	5	5	4		
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
草本層(H)の植被率 (%)	10	10	10	10	10	15	15	15	50	50	50	40	40	50	50	50		
草本層(H)の出現数 (種)	17	19	17	17	19	19	16	19	21	26	28	27	35	31	28	30		
出現種数 (種)	19	20	18	18	21	20	18	21	26	29	31	29	36	33	30	32		
低木層(S)																		
S. 16 スダジ(イタジ)																		
S. 17 ハナガサノキ																		
S. 18 ヤマグワ																		
S. 19 リュウキュウモチ						+												
S. 20 インドシャリンバイ									+									
S. 21 カクレミノ																		
S. 22 ササバサンキライ																		
S. 23 シマミサオノキ																		
S. 24 アオバナハイノキ																		
草本層(H)																		
H. 1 ササクサ	+2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	+	+	+	+	1・2	2・2	2・2	2・2		
H. 2 シラタマカズラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2		
H. 3 シバヤブニッケイ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+2	+2	+2		
H. 4 イスノキ		+	+	+	+	+	+	+		+	+	+	+	+	+	+		
H. 5 ササバサンキライ	+	+	+	+	+		+	+	+	+	+	+	+	+	+			
H. 6 タイミンタチバナ	+	+	+	+	+				1・2	1・2	1・2	+2	+2	+2	+2	1・2		
H. 7 ムツチャガラ	+	+	+	+	+		+		+2	+	+	+	+	+	+	+		
H. 8 スダジ(イタジ)	+	+	+	+	+				1・2	+	+	+	+	+	+	+		
H. 9 オキナワサルトリイバラ					+	+	+	+	+	+	+	+	+		+	+		
H. 10 シンエダウチホングウシダ	+2	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		
H. 11 イヌマキ	+	+	+	+	+		+	+	+	+	+	+2	+	+	+	+		
H. 12 クロガヤ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+2	+2	+2	+2		
H. 13 アオバナハイノキ(ソウザンハイノキ)	+	+	+	+	+	+	+	+			+			+	+	+		
H. 14 アデク	+	+	+	+	+	+						+	+	+	+	+		
H. 15 シシアクチ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		+	+		
H. 16 ヤマヒハツ		+					+	+	+	+	+	+	+	+	+			
H. 17 ハナガサノキ											+	+	+	+		+		
H. 18 イジュ	+	+	+	+	+	+2	+2	+2	+	+	+	+	+	+	+	+		
H. 19 カクレミノ									+	+	+	+	+	+	+	+		
H. 20 シマミサオノキ											+	+	+	+	+	+		

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5：被度が75～100%、4：被度が50～75%、3：被度が25～50%、2：被度が10～25%、1：被度が10%未満、+：被度が1%以下
 群度→5：かゝつ状に分布、4：かゝつに穴が開いた状態、3：大きな班を形成あるいはまだら状、2：班状に分布、1：小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-30(3) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-1(a))

調査年月	北側								南側									
	H28年度	H29年度				H30年度				H28年度	H29年度				H30年度			
	11/1	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/22	2/12	11/1	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/22	2/12		
方位	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W		
傾斜角度 (°)	40	40	40	40	40	40	40	40	5	5	5	5	5	5	5	5		
調査区面積 (m ²)	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4		
高木層(T1)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5		
高木層(T1)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	25	25	25	25	20	20	20	20		
高木層(T1)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1		
亜高木層(T2)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0		
亜高木層(T2)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	75	75	70	20	10	30	10	10		
亜高木層(T2)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	7	7	7	7	5	5	5	5		
低木層(S)の高さ (m)	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5		
低木層(S)の植被率 (%)	50	60	60	60	60	60	60	60	40	40	40	10	10	20	20	20		
低木層(S)の出現数 (種)	4	3	3	3	4	3	3	3	10	8	8	8	5	5	5	4		
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
草本層(H)の植被率 (%)	10	10	10	10	10	15	15	15	50	50	50	40	40	50	50	50		
草本層(H)の出現数 (種)	17	19	17	17	19	19	16	19	21	26	28	27	35	31	28	30		
出現種数 (種)	19	20	18	18	21	20	18	21	26	29	31	29	36	33	30	32		
草本層(H)																		
H.21 オニクラマゴケ(ミドリカタヒバ)	1・2	+2	+2	+	+	+		+										
H.22 アカメガシワ					+	+		+					+	+	+	+		
H.23 コバンモチ									+	+	+	+	+		+	+		
H.24 ヒメユズリハ									+	+	+	+	+	+				
H.25 シロミズ	+												+	+		+		
H.26 インドシャリンバイ						+		+	+	+	+	+	+	+	+	+		
H.27 ミズバイ									+	+		+				+		
H.28 ヒョウタンカズラ										+	+	+	+	+	+	+		
H.29 リュウキュウチク									+2	+								
H.30 シロノセンダングサ						+		+					+	+		+		
H.31 モクレイシ														+		+		
H.32 ヤンバルミズバイ	+	+	+	+		+	+	+	+									
H.33 リュウキュウチク (移植株)									3・3	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3	3・3	2・3		
H.34 リュウキュウアウドウシ									1・2	1・2	1・2	+2	+	+	+	+		
H.35 マンリョウ																		
H.36 ヒサカキサザンカ																		
H.37 タブノキ																		
H.38 ギョクシンカ																		
H.39 トキワカモメヅル																		
H.40 リュウキュウモチ										+	+	+	+	+				
H.41 トクサラン																		
H.42 フカノキ																		
H.43 ハゼノキ					+	+							+	+	+			
H.44 ヒサカキ										+	+		+		+	+		
H.45 オオバギ													+					
H.46 ヤマモモ																		
H.47 ヤマゲワ																		
H.48 ケホシダ																		
H.49 ホラシノブ																		
H.50 サザンカ						+	+							+				

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: かへつ状に分布, 4: かへつ状に穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-30(4) マント群落・ソデ群落の植生調査結果 (N-1(a))

調査年月	北側								南側									
	H28年度	H29年度				H30年度				H28年度	H29年度				H30年度			
	11/1	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/22	2/12	11/1	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/22	2/12		
方位	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W		
傾斜角度 (°)	40	40	40	40	40	40	40	40	5	5	5	5	5	5	5	5		
調査区面積 (m ²)	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×3	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4		
高木層(T1)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5	8.5		
高木層(T1)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	25	25	25	25	20	20	20	20		
高木層(T1)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1		
亜高木層(T2)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0		
亜高木層(T2)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	75	75	70	20	10	30	10	10		
亜高木層(T2)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	7	7	7	7	5	5	5	5		
低木層(S)の高さ (m)	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5		
低木層(S)の植被率 (%)	50	60	60	60	60	60	60	60	40	40	40	10	10	20	20	20		
低木層(S)の出現数 (種)	4	3	3	3	4	3	3	3	10	8	8	8	5	5	5	4		
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
草本層(H)の植被率 (%)	10	10	10	10	10	15	15	15	50	50	50	40	40	50	50	50		
草本層(H)の出現数 (種)	17	19	17	17	19	19	16	19	21	26	28	27	35	31	28	30		
出現種数 (種)	19	20	18	18	21	20	18	21	26	29	31	29	36	33	30	32		
草本層(H)																		
H. 51 チガヤ																+		
H. 52 リュウキュウテイカズラ																		
H. 53 オニタヒラコ																		
H. 54 オオアレチノギク																		
H. 55 ナガバカニクサ(カニクサ)																		
H. 56 モエジマシダ																		
H. 57 ツゲモチ								+										
H. 58 モッコク										+	+							
H. 59 エゴノキ		+																
H. 60 ノアサガオ						+												
H. 61 チチコグサ														+				
H. 62 ヒメブタナ														+				
H. 63 マツバゼリ														+				
H. 64 ホウキギク															+			
H. 65 ハスノハカズラ																+		
H. 66 ギイマ																		
H. 67 シロダモ																		
H. 68 イヌガシ																		
H. 69 クロミノオキナワスズメウリ																		
H. 70 タシロルリミノキ																		

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カーペット状に分布, 4: カーペットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-30(5) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-1(a))

調査年月	東側								西側								出現回数								
	H28年度		H29年度				H30年度				H28年度		H29年度					H30年度							
	11/2	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/22	2/12	11/2	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/22	2/12		11/2	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/22	2/12
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	W	-
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	-
調査区面積 (m ²)	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1×4	1×4	1×4	1×4	1×4	1×4	1×4	1×4	1×4	1×4	1×4	1×4	1×4	1×4	1×4	1×4	-
高木層(T1)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高木層(T1)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高木層(T1)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の高さ (m)	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の植被率 (%)	25	25	25	25	20	20	20	20	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の出現数 (種)	2	2	2	3	2	2	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の高さ (m)	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	-
低木層(S)の植被率 (%)	80	50	40	30	30	40	40	40	25	25	25	25	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	-
低木層(S)の出現数 (種)	11	7	8	3	3	4	3	3	3	3	2	2	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	-
草本層(H)の高さ (m)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.7	0.7	0.7	0.5	0.5	0.8	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.8	-
草本層(H)の植被率 (%)	30	10	10	10	10	15	15	15	25	20	20	20	30	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	-
草本層(H)の出現数 (種)	21	19	17	19	18	21	21	19	20	21	27	27	32	37	35	34	34	34	34	34	34	34	34	34	-
出現種数 (種)	25	22	19	20	19	22	21	20	24	23	29	29	35	39	38	37	37	37	37	37	37	37	37	37	-
高木層(T1)																									
T1.1 スダジイ(イタジイ)																									
亜高木層(T2)																									
T2.1 アデク																									
T2.2 ヒメユズリハ																									
T2.3 イスノキ																									
T2.4 イヌマキ																									
T2.5 ギイマ																									
T2.6 タイミンタチバナ																									
T2.7 ハナガサノキ																									
T2.8 コバンモチ																									
T2.9 ギョクシンカ																									
T2.10 フカノキ																									
T2.11 モクレイシ																									
低木層(S)																									
S.1 リュウキュウチク (移植株)																									
S.2 アデク																									
S.3 リュウキュウチク																									
S.4 イスノキ																									
S.5 シバヤブニッケイ																									
S.6 ムツチャガラ																									
S.7 シラタマカズラ																									
S.8 タイミンタチバナ																									
S.9 コバンモチ																									
S.10 ギョクシンカ																									
S.11 ヒメユズリハ																									
S.12 ヒサカキ																									
S.13 フカノキ																									
S.14 リュウキュウアリドウシ																									
S.15 ヤマヒハツ																									

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: かべつ状に分布, 4: かべつに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-30(6) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-1(a))

調査年月	東側								西側								出現回数
	H28年度		H29年度				H30年度				H28年度		H30年度				
	11/2	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/22	2/12	11/2	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/22	2/12	
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	W	W	W	W	W	W	W	W	
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	5	5	5	5	5	5	5	5	
調査区面積 (m ²)	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1×4	1×4	1×4	1×4	1×4	1×4	1×4	1×4	
高木層(T1)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高木層(T1)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高木層(T1)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
亜高木層(T2)の高さ (m)	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	-	-	-	-	-	-	-	
亜高木層(T2)の植被率 (%)	25	25	25	25	20	20	20	20	15	-	-	-	-	-	-	-	
亜高木層(T2)の出現数 (種)	2	2	2	3	2	2	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	
低木層(S)の高さ (m)	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
低木層(S)の植被率 (%)	80	50	40	30	30	40	40	40	25	25	25	25	30	30	30	30	
低木層(S)の出現数 (種)	11	7	8	3	3	4	3	3	3	3	2	2	3	3	4	4	
草本層(H)の高さ (m)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.7	0.7	0.7	0.5	0.5	0.8	
草本層(H)の植被率 (%)	30	10	10	10	10	15	15	15	25	20	20	20	30	40	40	40	
草本層(H)の出現数 (種)	21	19	17	19	18	21	21	19	20	21	27	27	32	37	35	34	
出現種数 (種)	25	22	19	20	19	22	21	20	24	23	29	29	35	39	38	37	
低木層(S)																	
S. 16 スダジイ(イタジイ)	+	+	+														3
S. 17 ハナガサノキ			1・1	1・1													2
S. 18 ヤマグワ															1・1	1・1	2
S. 19 リュウキュウモチ																	1
S. 20 インドシャリンバイ																	1
S. 21 カクレミノ	+																1
S. 22 ササバサンキライ	+																1
S. 23 シマミサオノキ	+																1
S. 24 アオバナハイノキ									+								1
草本層(H)																	
H. 1 ササクサ	2・3	+	+	+	+	1・2	1・2	+2	+	+2	+2	+2	+	1・2	1・2	1・2	32
H. 2 シラタマカズラ	+2	+	+	+	+	+2	+2	+2	+	+	+	+	+	+	+	+	32
H. 3 シバヤブニッケイ	+	+	+	+	+		+		+	+	+	+	+	+	+	+	30
H. 4 イスノキ	+	+	+	+	+	+2	+2	+2	+	+	+	+	+	+	+	+	30
H. 5 ササバサンキライ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	29
H. 6 タイミンタチバナ	1・2	+	+	+	+	+	+	+	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・1	1・1	1・1	29
H. 7 ムッチャガラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+			+	+	+	+	+	28
H. 8 スダジイ(イタジイ)	+	+	+	+	+	+	+	+			+	+	+	+	+	+	27
H. 9 オキナワサルトリイバラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	27
H. 10 シンエダウチホングウシダ									+2	+	+	+	+	+	+	+	24
H. 11 イヌマキ	+	+	+	+	+	+	+	+									23
H. 12 クロガヤ											+	+	+	+	+	+	22
H. 13 アオバナハイノキ(ソウザンハイノキ)	+								+2	+	+	+	+	+	+	+	21
H. 14 アデク							+		+	+	+	+	+	+	+	+	20
H. 15 シシアクチ	+	+							+							+	19
H. 16 ヤマヒハツ									+	+	+	+	+	+	+	+	18
H. 17 ハナガサノキ		+	+	+	+	+	+	+			+	+	+	+	+	+	18
H. 18 イジュ																	16
H. 19 カクレミノ	+2	+	+	+	+	+	+	+2									16
H. 20 シマミサオノキ	+					+	+	+			+	+	+	+	+	+	16

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: かべつ状に分布, 4: かべつ状に穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-30(7) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-1(a))

調査年月	東側								西側								出現回数
	H28年度		H29年度				H30年度				H28年度		H30年度				
	11/2	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/22	2/12	11/2	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/22	2/12	
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	W	W	W	W	W	W	W	W	
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	5	5	5	5	5	5	5	5	
調査区面積 (m ²)	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1×4	1×4	1×4	1×4	1×4	1×4	1×4	1×4	
高木層(T1)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高木層(T1)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高木層(T1)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
亜高木層(T2)の高さ (m)	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	-	-	-	-	-	-	-	
亜高木層(T2)の植被率 (%)	25	25	25	25	20	20	20	20	15	-	-	-	-	-	-	-	
亜高木層(T2)の出現数 (種)	2	2	2	3	2	2	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	
低木層(S)の高さ (m)	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
低木層(S)の植被率 (%)	80	50	40	30	30	40	40	40	25	25	25	25	30	30	30	30	
低木層(S)の出現数 (種)	11	7	8	3	3	4	3	3	3	3	2	2	3	3	4	4	
草本層(H)の高さ (m)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.7	0.7	0.7	0.5	0.5	0.8	
草本層(H)の植被率 (%)	30	10	10	10	10	15	15	15	25	20	20	20	30	40	40	40	
草本層(H)の出現数 (種)	21	19	17	19	18	21	21	19	20	21	27	27	32	37	35	34	
出現種数 (種)	25	22	19	20	19	22	21	20	24	23	29	29	35	39	38	37	
草本層(H)																	
H. 21 オニクラマゴケ(ミドリカタヒバ)									++2	+	+	+	+	+	+	+	15
H. 22 アカメガシワ									+	+	+	+	+	+	+	+	15
H. 23 コパンモチ	1・2	+	+	+	+	1・2	1・2	1・2									15
H. 24 ヒメユズリハ	++2	++2	++2	+	+	+	+	+									14
H. 25 シロミズ									+	+	+	+	+	+	+	+	12
H. 26 インドシャリンバイ	+	+	+														12
H. 27 ミズバイ									+	+	+	+	+	+	+	+	12
H. 28 ヒョウタンカズラ											+		+	+	+	+	12
H. 29 リュウキュウチク	+	+	+	+	+	++2	++2	1・2									10
H. 30 シロノセンダングサ													+	+	+	1・2	9
H. 31 モクレイシ						+	+	+		+	+	+	+				9
H. 32 ヤンバルミズバイ																	8
H. 33 リュウキュウチク (移植株)																	8
H. 34 リュウキュウアリドウシ																	8
H. 35 マンリョウ	+	+	+	+	+	+	+	+									8
H. 36 ヒサカキサザンカ									1・2	1・2	1・2	++2	1・2	1・2	1・2	1・2	8
H. 37 タブノキ									+	+	+	+	+	++2	++2	++2	8
H. 38 ギョクシンカ				1・1	1・1	+	+	+	+				+				7
H. 39 トキワカモメツル										+	+	+	++2	++2	++2	++2	7
H. 40 リュウキュウモチ						+											6
H. 41 トクサラン	+	+		+	+	+	+										6
H. 42 フカノキ										+	+	1・1		+	+	+	6
H. 43 ハゼノキ																	5
H. 44 ヒサカキ																	5
H. 45 オオバギ													+	+	+		4
H. 46 ヤマモモ										+	+	+	+				4
H. 47 ヤマグワ											+	+	1・1	1・1			4
H. 48 ケホシダ													+	+	+	+	4
H. 49 ホラシノブ													+	+	+	+	4
H. 50 サザンカ																	3

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: かへつ状に分布, 4: かへつ状に穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-30(8) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-1(a))

調査年月	東側								西側							
	H28年度	H29年度			H30年度				H28年度	H29年度			H30年度			
	11/2	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/22	2/12	11/2	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/22	2/12
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	W	W	W	W	W	W	W	W
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	5	5	5	5	5	5	5	5
調査区面積 (m ²)	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1.5×4	1×4	1×4	1×4	1×4	1×4	1×4	1×4	1×4
高木層(T1)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高木層(T1)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高木層(T1)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の高さ (m)	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	6.0	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の植被率 (%)	25	25	25	25	20	20	20	20	15	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の出現数 (種)	2	2	2	3	2	2	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-
低木層(S)の高さ (m)	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
低木層(S)の植被率 (%)	80	50	40	30	30	40	40	40	25	25	25	25	30	30	30	30
低木層(S)の出現数 (種)	11	7	8	3	3	4	3	3	3	3	2	2	3	3	4	4
草本層(H)の高さ (m)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	0.5	0.5	0.7	0.7	0.7	0.5	0.5	0.8
草本層(H)の植被率 (%)	30	10	10	10	10	15	15	15	25	20	20	20	30	40	40	40
草本層(H)の出現数 (種)	21	19	17	19	18	21	21	19	20	21	27	27	32	37	35	34
出現種数 (種)	25	22	19	20	19	22	21	20	24	23	29	29	35	39	38	37
草本層(H)																
H. 51 チガヤ														+	+	3
H. 52 リュウキュウテイカズラ				+		+		+								3
H. 53 オニタビラコ														1・2	1・2	1・2
H. 54 オオアレチノギク														+	+	+
H. 55 ナガバカニクサ(カニクサ)														+	+	+
H. 56 モエジマシダ														+	+	+
H. 57 ツゲモチ																+
H. 58 モッコク																2
H. 59 エゴノキ																1
H. 60 ノアサガオ																1
H. 61 チチコグサ																1
H. 62 ヒメブタナ																1
H. 63 マツバゼリ																1
H. 64 ホウキギク																1
H. 65 ハスノハカズラ																1
H. 66 ギイマ	+															1
H. 67 シロダモ	+															1
H. 68 イヌガシ														+		1
H. 69 クロミノオキナワズメウリ														+		1
H. 70 タシロリミノキ															+	1

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: かへつ状に分布, 4: かへつに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

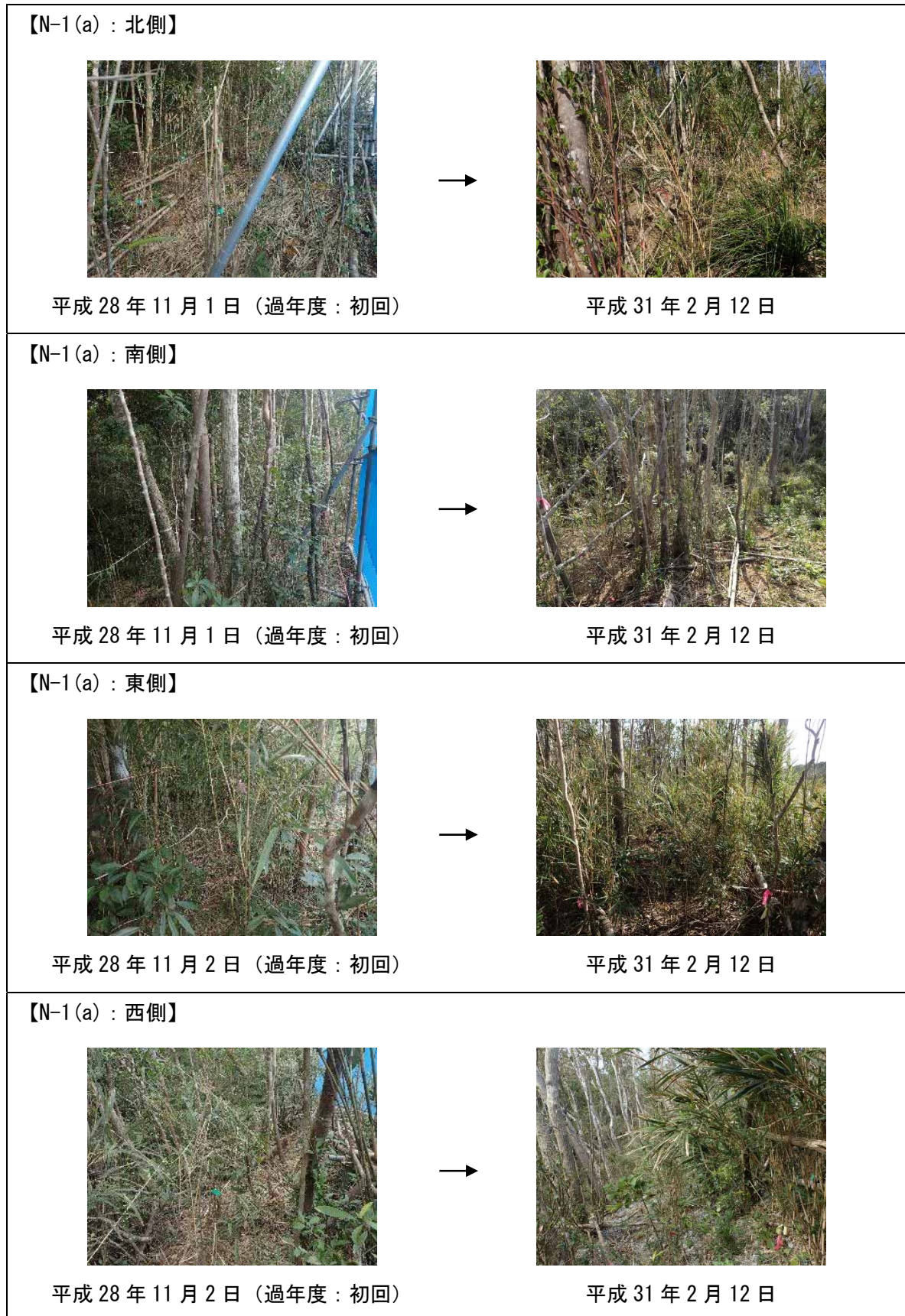


図 7.1.3-30 マント群落・ソデ群落の植生状況(N-1(a))

(b) 無障害物帯形成地の植生

N-1(a)の無障害物帯の生育・形成状況を表 7.1.3-31、図 7.1.3-31 に示した。

無障害物帯縁の植生の推移をみると、無障害物帯は樹木の伐採が行われた後、埋土種子からの発芽や周辺からの草本類の侵入、赤土対策による種子吹付芝や張芝による植被率の増加がみられ、植生の回復が進んでいることを確認した。

評価図書においては、無障害物帯は早期緑化を行うこととしており、今年度は、植生がほぼ回復したと考えられが、次年度以降も存在・供用時の調査を実施し、その形成状況について把握することとする。以下に各調査地点の植生状況について整理した。

北側は、過年度の調査(平成29年度)において、草丈0.5~0.7m、植被率90~100%、出現種8~12種であった。今年度調査においては、草丈0.7~0.8m、植被率100%、出現種9~10種であった。過年度と比較すると、植被率が増加し、植生の回復が確認された。

南側は、過年度の調査(平成29年度)において、草丈0.5~0.6m、植被率50~90%、出現種6~15種であった。今年度調査においては、草丈0.3~0.6m、植被率75~80%、出現種13~21種であった。過年度と比較すると、植被率も安定し、植生の回復が確認された。

東側は、過年度の調査(平成29年度)において、草丈0.1m、植被率95%、出現種はシバ1種であった。今年度調査においては、草丈0.1~0.2m、植被率100%、出現種2~6種であった。過年度と比較すると、植被率も増加し、植生の回復が確認された。

表 7.1.3-31 無障害物帯形成地の植生調査結果 (N-1(a))

調査年月	北側							南側							東側							出現回数
	H29年度			H30年度				H29年度			H30年度				H29年度			H30年度				
	7/14	10/6	1/22	6/1	9/14	10/22	2/12	7/14	10/6	1/22	6/1	9/14	10/22	2/12	7/14	10/6	1/22	6/1	9/14	10/22	2/12	
方位	W	W	W	W	W	W	W	SW	SW	SW	SW	SW	SW	SW	-	-	-	-	-	-	-	
傾斜角度 (°)	30	30	30	30	30	30	30	10	10	10	10	10	10	10	-	-	-	-	-	-	-	
調査区面積 (m ²)	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×2	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.5	0.5	0.6	0.6	0.3	0.6	0.6	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	
草本層(H)の植被率 (%)	100	90	90	100	100	100	100	90	50	60	80	75	75	80	95	95	95	100	100	100	100	
出現種数 (種)	8	9	12	10	9	9	9	6	6	15	16	13	16	21	1	1	1	3	3	2	6	
草本層(H)																						
H.1 シバ	3・4	3・3	3・3	3・3				5・5	3・4	3・4	5・5	4・4	4・4	4・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	18	
H.2 オオアブラガヤ	3・4	4・4	4・4	4・4	4・4	2・3	2・3	+	+	+	+	+	+								13	
H.3 ベニバナボロギク	1・2	+	1・2	+					+	+2	+2	+	+	+2							10	
H.4 ホラシノブ		+			+	+	+		+	+	+	1・2	1・2	1・2							10	
H.5 チガヤ				1・2	1・2	4・4	4・4				+	+2	+2	1・2							+2	
H.6 ホシダ		+	+	+	+	+	+			+	+										8	
H.7 シロノセンダングサ			+2	2・2	2・3	2・3	3・3							+					+	+	8	
H.8 ニワゼキショウ		+	+	+									+	+2					+		7	
H.9 ヒナギキョウ			+	+				+			2・2	+2	+	+2							7	
H.10 リュウキュウチク									+	+	+	+	+	+							6	
H.11 ススキ	+		+		3・3	1・2	1・2														5	
H.12 ササクサ		+					+	+		+	+										5	
H.13 オキナワサルトリイバラ					+	+	+			+	+										5	
H.14 ヒカゲヘゴ	+				+	+		1・2													4	
H.15 ヒメブタナ			+							1・2			+	+2							4	
H.16 ホウキギク					+								+2	+	+						4	
H.17 オニタビラコ										+	+		+	+							4	
H.18 オオアレチノギク											+	+2	+2	+2							4	
H.19 アキノノゲシ											+	+	+	+							4	
H.20 ハマズゲ																		+	+2	+2	+	
H.21 ハマサルトリイバラ	+	+2		+																	3	
H.22 ヤマヒハツ						+							+	+							3	
H.23 ダンドボロギク										+	+			+							3	
H.24 ヒリュウシダ													+	+	+						3	
H.25 アデク	+		+																		2	
H.26 インドシャリンバイ		+					+														2	
H.27 ウラビ			+	+																	2	
H.28 ギョウギシバ			+							+											2	
H.29 イスノキ									+	+											2	
H.30 コマツヨイグサ										1・2		+									2	
H.31 チチコグサ										+				+							2	
H.32 クロガヤ													+	+							2	
H.33 クグテンツキ													+	+							2	
H.34 ツゲモチ	+																				1	
H.35 ヒメオニササガヤ								1・2													1	
H.36 キキョウソウ											+										1	
H.37 マツバウンラン sp.											+										1	
H.38 インドヨメナ(コヨメナ)														+							1	
H.39 コバナヒメハギ														+							1	
H.40 コメツブウマゴヤシ																					+	

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: かへつ状に分布, 4: かへつに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

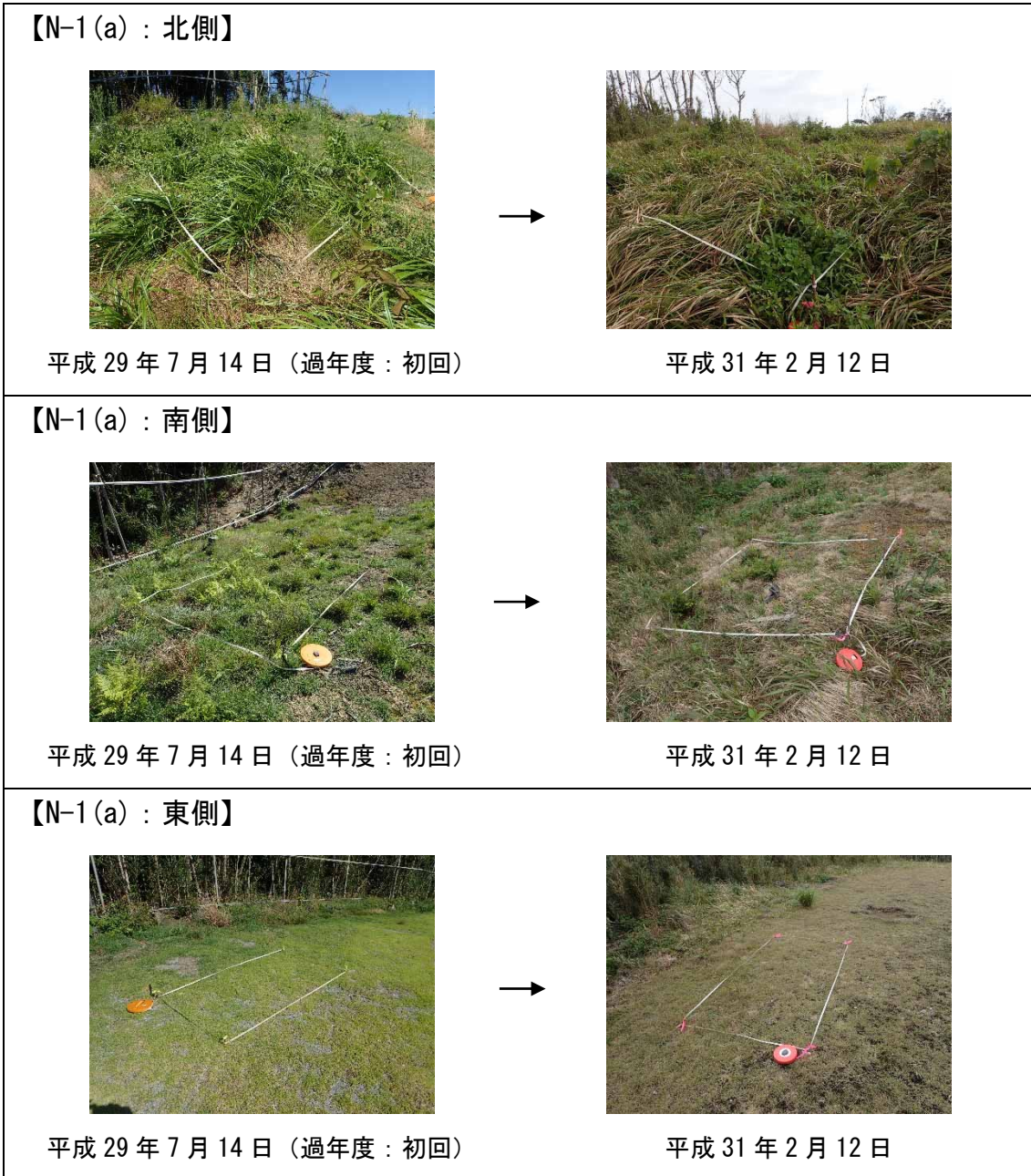


図 7.1.3-31 無障害物帯の植生状況の推移(N-1(a))

b) N-1 (b)

(a) マント群落・ソデ群落の生育状況

N-1 (b) のマント群落・ソデ群落の生育・形成状況を表 7.1.3-32、図 7.1.3-32 に示した。

無障害物帯縁のマント群落・ソデ群落については、評価図書に示す環境保全措置のとおり、林縁部においてリュウキュウチクの植栽を実施しているものの、マント群落・ソデ群落の形成は不十分であった。次年度以降も存在・供用時の調査を実施し、その形成状況について把握することとする。以下に各調査地点の植生状況について整理した。

北側は、過年度の調査(平成 29 年度)において、高木層が高さ 8m、植被率 30～50%、出現種 3 種、亜高木層が高さ 5m、植被率が 10%、出現種 2 種、低木層が高さ 3m、植被率 20～30%、出現種 2～3 種、草本層が高さ 1.5m、植被率 25%、出現種 21 種であった。今年度調査においては、高木層が高さ 8m、植被率 30%、出現種 3 種、亜高木層が高さ 5m、植被率が 10%、出現種 1～2 種、低木層が高さ 3m、植被率 30～40%、出現種 3～4 種、草本層が高さ 1.5m、植被率 25～30%、出現種 24～34 種であった。過年度と比較すると、草本層において出現種数が増加しているものの、植被率については各階層大きな変化は無かった。

南側は、過年度の調査(平成 29 年度)において、亜高木層が高さ 4m、植被率が 10～15%、出現種 1～2 種、低木層が高さ 2m、植被率 20%、出現種 2 種、草本層が高さ 1.3m、植被率 5～10%、出現種 9～19 種であった。今年度調査においては、亜高木層が高さ 4m、植被率が 10%、出現種 1 種、低木層が高さ 2m、植被率 20～25%、出現種 2～3 種、草本層が高さ 0.5m、植被率 5～10%、出現種 11～19 種であった。過年度と比較すると、低木層、草本層で植被率が僅かに増加していた。

東側は、過年度の調査(平成 29 年度)において、低木層が高さ 2m、植被率 40～45%、出現種 1～4 種、草本層が高さ 0.5m、植被率 15%、出現種 13～16 種であった。今年度調査においては、低木層が高さ 2～2.5m、植被率 30～45%、出現種 3 種、草本層が高さ 0.5m、植被率 15～20%、出現種 17～20 種であった。過年度と比較すると、低木層において植被率の低下が確認された。

西側は、過年度の調査(平成 29 年度)において、高木層が高さ 8m、植被率 10%、出現種 1 種、亜高木層が高さ 5m、植被率が 10%、出現種 2～3 種、低木層が高さ 2m、植被率 35%、出現種 1～3 種、草本層が高さ 1m、植被率 10%、出現種 14～19 種であった。今年度調査においては、高木層が高さ 8m、植被率 10%、出現種 1 種、亜高木層が高さ 5m、植被率が 10～15%、出現種 2～3 種、低木層が高さ 2m、植被率 40%、出現種 3～4 種、草本層が高さ 1m、植被率 10～20%、出現種 23～33 種であった。過年度と比較すると、亜高木層、低木層、草本層において植被率が僅かに増加していた。

表 7.1.3-32(1) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-1(b))

調査年月	北側								南側								
	H28年度	H29年度			H30年度				H28年度	H29年度			H30年度				
	11/1	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/27	2/12	11/2	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/27	2/12	
方位	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	N	N	N	N	N	N	N	N	N
傾斜角度 (°)	40	40	40	40	40	40	40	40	15	15	15	15	15	15	15	15	15
調査区面積 (m ²)	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5
高木層(T1)の高さ (m)	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高木層(T1)の植被率 (%)	50	50	30	30	30	30	30	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高木層(T1)の出現数 (種)	2	3	3	3	3	3	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の高さ (m)	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
亜高木層(T2)の植被率 (%)	20	10	10	10	10	10	10	10	15	15	10	10	10	10	10	10	10
亜高木層(T2)の出現数 (種)	3	2	2	2	2	2	2	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1
低木層(S)の高さ (m)	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
低木層(S)の植被率 (%)	20	20	30	30	30	30	30	40	20	20	20	20	20	25	25	25	25
低木層(S)の出現数 (種)	2	2	3	3	3	3	3	4	3	2	2	2	3	3	2	3	3
草本層(H)の高さ (m)	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.3	1.3	1.3	1.3	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
草本層(H)の植被率 (%)	25	25	25	25	25	30	30	25	40	10	5	5	5	10	10	10	10
草本層(H)の出現数 (種)	16	21	21	21	24	31	27	34	24	19	11	9	11	17	19	15	15
出現種数 (種)	19	24	24	25	28	33	30	30	27	21	12	10	13	18	20	20	20
高木層(T1)																	
T1.1 ヒメユズリハ	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1									
T1.2 スダジイ(イタジイ)	3・2	3・2	2・1	2・1	1・1	1・1	1・1	1・1									
T1.3 モッコク		+	+	+	1・1	+	+	+									
亜高木層(T2)																	
T2.1 イスノキ	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1									
T2.2 シロミミズ									1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1
T2.3 フカノキ	+	+	+	+	+	+	+	+									
T2.4 タイミンタチバナ																	
T2.5 シラタマカズラ																	
T2.6 モッコク									1・1	1・1							
T2.7 シマミサオノキ	1・1																
低木層(S)																	
S.1 リュウキュウチク (移植株)	+	+	+	+	+	+2	+2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2
S.2 イスノキ	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1									
S.3 スダジイ(イタジイ)			1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2
S.4 リュウキュウチク	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1									
S.5 カクレミノ																	
S.6 シラタマカズラ																	
S.7 ギョクシンカ																	
S.8 シロダモ									1・1								
S.9 タイミンタチバナ																	
S.10 フカノキ								+									
S.11 ヒメユズリハ														+			
S.12 ハナガサノキ															+		
S.13 ヤンバルミミズバイ																	+
草本層(H)																	
H.1 スダジイ(イタジイ)	+	+	+	+	+	+	+	+	1・2	1・2	1・2	+	+	+2	+2	+	+
H.2 コバンモチ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+		+	+	+	+	+	+
H.3 シラタマカズラ	+	+	+	+	+	+	+	+			+	+	+	+	+	+	+
H.4 タイミンタチバナ	+		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+2	+2	+2
H.5 オキナワサルトリイバラ	+	+	+			+	+	+	+	+		+	+	+	+	+	+

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カベツトに分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-32(2) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-1(b))

調査年月	北側								南側								
	H28年度	H29年度			H30年度				H28年度	H29年度			H30年度				
	11/1	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/27	2/12	11/2	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/27	2/12	
方位	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	N	N	N	N	N	N	N	N	N
傾斜角度 (°)	40	40	40	40	40	40	40	40	15	15	15	15	15	15	15	15	15
調査区面積 (m ²)	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5
高木層(T1)の高さ (m)	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高木層(T1)の植被率 (%)	50	50	30	30	30	30	30	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高木層(T1)の出現数 (種)	2	3	3	3	3	3	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の高さ (m)	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
亜高木層(T2)の植被率 (%)	20	10	10	10	10	10	10	10	15	15	10	10	10	10	10	10	10
亜高木層(T2)の出現数 (種)	3	2	2	2	2	2	2	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1
低木層(S)の高さ (m)	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
低木層(S)の植被率 (%)	20	20	30	30	30	30	30	40	20	20	20	20	20	25	25	25	25
低木層(S)の出現数 (種)	2	2	3	3	3	3	3	4	3	2	2	2	3	3	2	3	3
草本層(H)の高さ (m)	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.3	1.3	1.3	1.3	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
草本層(H)の植被率 (%)	25	25	25	25	25	30	30	25	40	10	5	5	5	10	10	10	10
草本層(H)の出現数 (種)	16	21	21	21	24	31	27	34	24	19	11	9	11	17	19	15	15
出現種数 (種)	19	24	24	25	28	33	30	30	27	21	12	10	13	18	20	20	20
草本層(H)																	
H.6 イヌマキ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+						
H.7 ササクサ	++2	+	+	+	++2	1・2	1・2	1・2	++2	+							
H.8 シンエダウチホングウシダ	+	+	+	+	+	+	+	+	++2	+				+	+	+	
H.9 アデク	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+							
H.10 ササバサンキライ	+	+	+	+	+	+	+	+	+		+	+	+		+		
H.11 オオバナハイノキ(ソウザンハイノキ)	+	+	+	+		+	+	+			+	+	+		+	+	
H.12 リュウキュウチク (移植株)	2・3	2・3	2・3	2・3	2・3	2・3	2・3	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2
H.13 ヤマヒハツ				+	+	+	+	+							+	+	+
H.14 イスノキ									+	+							
H.15 クロガヤ					+	+	+	+	+								
H.16 リュウキュウモチ		+	+	+	+	+	+	+							+	+	+
H.17 カクレミノ									+	+	+		+	+	+	+	+
H.18 イジュ	++2	+	+	+	+	+	+	++2	1・2								
H.19 タブノキ		+	+	+	+	+	+	+	+	+							
H.20 リュウキュウチク	+	+	+	+	+	+	+	+									
H.21 ハナガサノキ						+		+	+	+	+		+	+	+	+	+
H.22 シバヤブニッケイ	+	+	+	+	+				+	+							
H.23 オオバギ			+	+	+	+	+	+					+	+	+		
H.24 マンリョウ									+	+							
H.25 インドシャリンバイ		+	+	+	+			+									
H.26 シマミサオノキ		+	+	+													
H.27 アカメガシワ						+	+	+									+
H.28 ヒメズリハ	+						+	+									
H.29 ムッチャガラ						+	+										
H.30 エダウチクジャク																	
H.31 シロミミズ																	
H.32 クロヘゴ																	
H.33 ハゼノキ						+		+									
H.34 ヒサカキ									+	+				+	+	+	+
H.35 シログモ	+			+	+	+	+	+									

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カベツト状に分布, 4: カベツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-32(3) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-1(b))

調査年月	北側								南側								
	H28年度	H29年度			H30年度				H28年度	H29年度			H30年度				
	11/1	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/27	2/12	11/2	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/27	2/12	
方位	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	NW	N	N	N	N	N	N	N	N	N
傾斜角度 (°)	40	40	40	40	40	40	40	40	15	15	15	15	15	15	15	15	15
調査区面積 (m ²)	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5	3×1.5
高木層(T1)の高さ (m)	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高木層(T1)の植被率 (%)	50	50	30	30	30	30	30	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高木層(T1)の出現数 (種)	2	3	3	3	3	3	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亜高木層(T2)の高さ (m)	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
亜高木層(T2)の植被率 (%)	20	10	10	10	10	10	10	10	15	15	10	10	10	10	10	10	10
亜高木層(T2)の出現数 (種)	3	2	2	2	2	2	2	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1
低木層(S)の高さ (m)	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
低木層(S)の植被率 (%)	20	20	30	30	30	30	30	40	20	20	20	20	20	25	25	25	25
低木層(S)の出現数 (種)	2	2	3	3	3	3	3	4	3	2	2	2	3	3	2	3	3
草本層(H)の高さ (m)	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.3	1.3	1.3	1.3	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
草本層(H)の植被率 (%)	25	25	25	25	25	30	30	25	40	10	5	5	5	10	10	10	10
草本層(H)の出現数 (種)	16	21	21	21	24	31	27	34	24	19	11	9	11	17	19	15	15
出現種数 (種)	19	24	24	25	28	33	30	30	27	21	12	10	13	18	20	20	20
草本層(H)																	
H. 36 エゴノキ		+	+	+	+												
H. 37 ベニバナボロギク					+	+		+							+	+	
H. 38 ヤンバルミズバイ									+	+	+	+			+	+	
H. 39 ナカハラクロキ																	
H. 40 フカノキ		+	+			+		+									
H. 41 ヤマグワ					+	+	+	+									
H. 42 ギョクシンカ																	
H. 43 ギイマ					+	+	+										
H. 44 クロバイ					+	+	+										
H. 45 シバ						+	+	+									
H. 46 シロノセンダングサ						+	+	+									
H. 47 ツゲモチ										+							
H. 48 オニクラマゴケ(ミドリカタヒバ)									2	2	+						
H. 49 ウスベニニガナ															+	+	+
H. 50 キキョウラン																	
H. 51 モッコク						+		+									
H. 52 オニタビラコ									+								
H. 53 ニワゼキショウ									+								
H. 54 チチコグサモドキ									+								
H. 55 ケホシダ										+	+						
H. 56 ヒサカキサザンカ										+		+					
H. 57 ホシダ															+	+	
H. 58 オオアブラガヤ																	
H. 59 コバナヒメハギ																	
H. 60 ホラシノブ																	
H. 61 オキナワズメウリ			+														
H. 62 ヤマモモ			+														
H. 63 クロミノオキナワズメウリ																	
H. 64 アオノクマタケラン																	

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: かべ ット状に分布, 4: かべ ットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-32(4) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-1(b))

N-1(b) マント群落・ソデ群落形成地	東側								西側								出現回数	
	調査年月	H28年度	H29年度			H30年度				H28年度	H29年度			H30年度				
		11/2	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/27	2/12	11/1	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/27		2/12
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	N	N	N	N	N	N	N	N	N	
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
調査区面積 (m ²)	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	
高木層(T1)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	
高木層(T1)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
高木層(T1)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
亜高木層(T2)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	
亜高木層(T2)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	10	10	10	10	10	10	15	15	15	
亜高木層(T2)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	3	3	3	2	2	2	2	
低木層(S)の高さ (m)	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
低木層(S)の植被率 (%)	45	45	40	40	40	45	45	30	35	35	35	35	40	40	40	40	40	
低木層(S)の出現数 (種)	4	4	3	1	3	3	3	3	1	1	3	3	3	4	3	3	3	
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
草本層(H)の植被率 (%)	15	15	15	15	15	20	20	15	10	10	10	10	10	20	20	20	20	
草本層(H)の出現数 (種)	13	16	13	15	17	19	19	20	15	14	19	18	23	29	30	33	33	
出現種数 (種)	16	18	15	16	19	21	21	21	18	17	22	20	23	30	32	32	32	
高木層(T1)																		
T1.1 ヒメユズリハ									1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	1・1	16
T1.2 スダジイ(イタジイ)																		8
T1.3 モッコク																		7
亜高木層(T2)																		
T2.1 イスノキ									1・1	1・1	1・1	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	16
T2.2 シロミミズ																		8
T2.3 フカノキ																		7
T2.4 タイミンタチバナ											1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	1・2	6
T2.5 シラタマカズラ									+	+	+	+	+					5
T2.6 モッコク																		2
T2.7 シマミサオノキ																		1
低木層(S)																		
S.1 リウキュウチク (移植株)	3・4	3・4	3・4	3・4	3・4	3・4	3・4	2・3	3・4	3・4	3・4	3・4	3・4	3・4	3・4	3・4	3・4	32
S.2 イスノキ	+	+	+		+	1・1	1・2	1・2							+	+	+	18
S.3 スダジイ(イタジイ)																		14
S.4 リウキュウチク																		8
S.5 カクレミノ			+		+	+	+	+					+	+				7
S.6 シラタマカズラ												+	+	+	+			4
S.7 ギョクシンカ												+			+	+	+	4
S.8 シロダモ	+	+																3
S.9 タイミンタチバナ	+	+																2
S.10 フカノキ																		1
S.11 ヒメユズリハ																		1
S.12 ハナガサノキ																		1
S.13 ヤンバルミミズバイ																		1
草本層(H)																		
H.1 スダジイ(イタジイ)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	32
H.2 コバンモチ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	30
H.3 シラタマカズラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	30
H.4 タイミンタチバナ		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	30
H.5 オキナワサルトリイバラ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	29

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: かべ ヲ状に分布, 4: かべ ヲに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-32(5) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-1(b))

調査年月	N-1(b) マント群落・ソデ群落形成地																出現回数							
	東側								西側															
	H28年度		H29年度				H30年度				H28年度		H29年度					H30年度						
11/2	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/27	2/12	11/1	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/27	2/12	11/1	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/27	2/12	
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	N	
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
調査区面積 (m ²)	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	
高木層(T1)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	
高木層(T1)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
高木層(T1)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
亜高木層(T2)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	
亜高木層(T2)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	10	10	10	10	10	10	15	15	15	15	15	15	15	15	15	
亜高木層(T2)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	3	3	3	2	2	2	2	2	3	3	2	2	2	
低木層(S)の高さ (m)	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
低木層(S)の植被率 (%)	45	45	40	40	40	45	45	30	35	35	35	35	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	
低木層(S)の出現数 (種)	4	4	3	1	3	3	3	3	1	1	3	3	3	4	3	3	4	3	3	3	3	3	3	
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
草本層(H)の植被率 (%)	15	15	15	15	15	20	20	15	10	10	10	10	10	10	20	20	20	20	20	20	20	20	20	
草本層(H)の出現数 (種)	13	16	13	15	17	19	19	20	15	14	19	18	23	29	30	33	33	33	33	33	33	33	33	
出現種数 (種)	16	18	15	16	19	21	21	21	18	17	22	20	23	30	32	32	32	32	32	32	32	32	32	
草本層(H)																								
H. 6 イヌマキ	+	+	+	1・1	1・1	1・1	1・1	+2	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	27	
H. 7 ササクサ	1・2	1・2	1・2	+2	+2	1・2	1・2	1・2	+2	+2	1・2	1・2	1・2	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	2・2	26	
H. 8 シンエダウチホンクウシダ	+2	+	+	+				+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	26	
H. 9 アデク		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	25	
H. 10 ササバサンキライ	+			+	+	+	+	+	+				+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	25	
H. 11 アオバナハイノキ(ソウザンハイノキ)									+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	20	
H. 12 リュウキュウチク (移植株)																							16	
H. 13 ヤマヒハツ					+	+	+	+					+		+	+	+	+	+	+	+	+	16	
H. 14 イスノキ	+	+	+	+	+	+	+	+					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	16	
H. 15 クロガヤ				+	+	+	+	+2					+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	15	
H. 16 リュウキュウモチ													+		+	+	+	+	+	+	+	+	14	
H. 17 カクレミノ									+	+			+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	14	
H. 18 イジュ					+	+	+	+															13	
H. 19 タブノキ													+		+	+	+	+	+	+	+	+	13	
H. 20 リュウキュウチク															+	+	+	+	+	+	+	+2	12	
H. 21 ハナガサノキ															+	+							11	
H. 22 シバヤブニッケイ							+	+	+														10	
H. 23 オオバギ									+														10	
H. 24 マンリョウ	+	+											+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	10	
H. 25 インドシャリンバイ													+	+							+	+	9	
H. 26 シママサオノキ													+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	9	
H. 27 アカメガシワ	+2														+	+	+	+	+	+	+	+	9	
H. 28 ヒメユズリハ							+	+	+						+	+							8	
H. 29 ムッチャガラ					+	+	+	+	+	+													8	
H. 30 エダウチクジャク	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2	+2															8	
H. 31 シロミミズ	+	+	+	+	+	+	+	+															8	
H. 32 クロヘゴ									1・1	1・1	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	8	
H. 33 ハゼノキ		+												+	+	+	+	+	+	+	+	+	7	
H. 34 ヒサカキ															+	+					+	+	7	
H. 35 シロダモ																							6	

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: かべツト状に分布, 4: かべツトに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-32(6) マント群落・ソデ群落の植生調査結果(N-1(b))

N-1(b) マント群落・ソデ群落形成地	東側								西側								出現回数		
	H28年度	H29年度			H30年度				H28年度	H29年度			H30年度						
	11/2	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/27	2/12	11/1	7/18	10/6	1/22	6/1	9/14	10/27	2/12			
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	N	N	N	N	N	N	N	N			
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	5	5	5	5	5	5	5	5			
調査区面積 (m ²)	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	1.5×3.5	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4	2×4			
高木層(T1)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0			
高木層(T1)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	10	10	10	10	10	10	10	10			
高木層(T1)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1			
亜高木層(T2)の高さ (m)	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0			
亜高木層(T2)の植被率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	10	10	10	10	10	15	15	15			
亜高木層(T2)の出現数 (種)	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	3	3	3	2	2	2			
低木層(S)の高さ (m)	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0			
低木層(S)の植被率 (%)	45	45	40	40	40	45	45	30	35	35	35	35	40	40	40	40			
低木層(S)の出現数 (種)	4	4	3	1	3	3	3	3	1	1	3	3	3	4	3	3			
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0			
草本層(H)の植被率 (%)	15	15	15	15	15	20	20	15	10	10	10	10	10	20	20	20			
草本層(H)の出現数 (種)	13	16	13	15	17	19	19	20	15	14	19	18	23	29	30	33			
出現種数 (種)	16	18	15	16	19	21	21	21	18	17	22	20	23	30	32	32			
草本層(H)																			
H. 36 エゴノキ																+	+	6	
H. 37 ベニバナボロギク																		+	6
H. 38 ヤンバルミズバイ																			6
H. 39 ナカハラクロキ											+	+	+	+	+	+	+	6	
H. 40 フカノキ																			4
H. 41 ヤマグワ																			4
H. 42 ギョクシンカ		+	+	+	+														4
H. 43 ギイマ																			3
H. 44 クロバイ																			3
H. 45 シバ																			3
H. 46 シロノセンダングサ																			3
H. 47 ツゲモチ																		+	3
H. 48 オニクラマゴケ(ミドリカタヒバ)		+																	3
H. 49 ウスベニニガナ																			3
H. 50 キキョウラン															+	+	+	3	
H. 51 モッコク																			2
H. 52 オニタビラコ																		+	2
H. 53 ニワゼキショウ																		+	2
H. 54 チチコグサモドキ																		+	2
H. 55 ケホシダ																			2
H. 56 ヒサカキサザンカ																			2
H. 57 ホシダ																			2
H. 58 オオアブラガヤ							+	+											2
H. 59 コバナヒメハギ								+							+				2
H. 60 ホラシノブ																	+	+	2
H. 61 オキナウスズメリ																			1
H. 62 ヤマモモ																			1
H. 63 クロミノオキナウスズメリ	+																		1
H. 64 アオノクマタケラン																	+		1

注)表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。

優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: カゝット状に分布, 4: カゝットに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

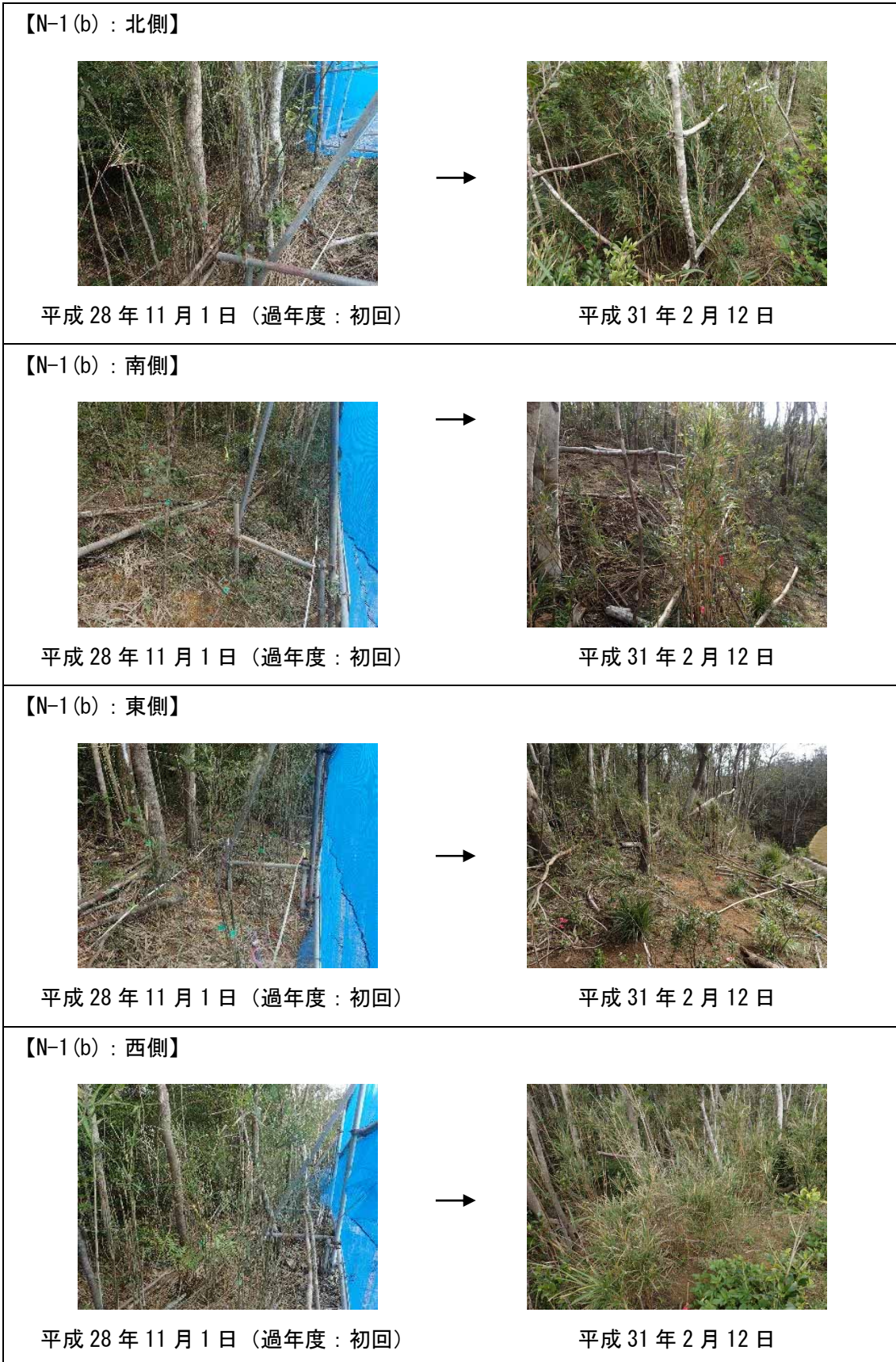


図 7.1.3-32 マント群落・ソデ群落の植生状況 (N-1 (b))

(b) 無障害物帯形成地の植生

N-1(b)の無障害物帯の生育・形成状況を表 7.1.3-33、図 7.1.3-33 に示した。

無障害物帯縁の植生の推移をみると、無障害物帯は樹木の伐採が行われた後、埋土種子からの発芽や周辺からの草本類の侵入、赤土対策による種子吹付シバや張芝による植被率の増加がみられ、植生の回復が進んでいることを確認した。

評価図書においては、無障害物帯は早期緑化を行うことになっているが、一部で形成が不十分であったことから、次年度以降も存在・供用時の調査を実施し、その形成状況について把握することとする。以下に各調査地点の植生状況について整理した。

北側は、過年度の調査(平成29年度)において、草丈0.2~0.3m、植被率75~90%、出現種6種であった。今年度調査においては、草丈0.3m、植被率45~90%、出現種3~13種であった。過年度と比較すると、植被率が大きく減少していたが、その要因としてイノシシによる掘り返しが考えられた。

南側は、過年度の調査(平成29年度)において、草丈0.2m、植被率100%、出現種1種であった。今年度調査においては、草丈0.2~0.3m、植被率100%、出現種1~4種であった。過年度から継続して、芝張りされた草本類のシバが優占し、植生の回復が確認された。

東側は、過年度の調査(平成29年度)において、草丈0.3~0.5m、植被率95%、出現種4~5種であった。今年度調査においては、草丈0.4~0.5m、植被率95~100%、出現種8~11種であった。過年度から継続して、芝張りされた草本類のシバが優占し、植生の回復が確認された。

西側は、過年度の調査(平成29年度)において、草丈0.3~0.4m、植被率95~100%、出現種5種であった。今年度調査においては、草丈0.5~0.8m、植被率100%、出現種6~7種であった。過年度と比較すると、芝張りされた草本類のシバが優占するほか、草本類のオオアブラガヤも高い被度を示し、植生の回復が確認された。

表 7.1.3-33(1) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-1(b))

調査年月日	北側								南側							
	H29年度			H30年度					H29年度			H30年度				
	7/14	10/6	1/22	6/1	9/14	10/27	2/12	7/14	10/6	1/22	6/1	9/14	10/27	2/12		
方位	N	N	N	N	N	N	N	S	S	S	S	S	S	S		
傾斜角度 (°)	5	5	5	5	5	5	5	45	45	45	45	45	45	45		
調査区面積 (m ²)	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1		
草本層(H)の高さ (m)	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3		
草本層(H)の植被率 (%)	75	80	90	95	70	45	50	100	100	100	100	100	100	100		
出現種数 (種)	6	6	6	8	10	3	13	1	1	1	1	2	2	4		
草本層(H)																
H.1 シバ	4・4	5・5	5・5	5・5	4・4	3・3	3・3	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5		
H.2 シロノセンダングサ							1・2					1・1	1・1	1・1		
H.3 オオアブラガヤ																
H.4 ベニバナボロギク			+2	+2	+		+2									
H.5 オオアレチノギク				+	+	+										
H.6 ハマサルトリイバラ							+									
H.7 ハマズゲ																
H.8 ゴウギシバ																
H.9 ササクサ	+	+	+	+	+											
H.10 ホシダ	+	+	+	+			+									
H.11 リュウキュウモチ		+	+	+	+											
H.12 ニワゼキショウ			+	+	+		+2									
H.13 ダンドボロギク				+			+2									
H.14 ヒサカキ					+2	+2	1・1									
H.15 ヤハズソウ																
H.16 コマツヨイグサ																
H.17 ホルトノキ	+	+														
H.18 ツゲモチ					+		+									
H.19 コバナヒメハギ														+		
H.20 コメツブウマゴヤシ														+		
H.21 オニタビラコ																
H.22 アゼガヤツリ																
H.23 カタバミ																
H.24 ワラビ	+2															
H.25 ヒカゲヘゴ	+															
H.26 コウライシバ		+														
H.27 タチスズメノヒエ					+											
H.28 ヤマヒハツ					+											
H.29 ホウキギク								+								
H.30 インチンナズナ(カラクサナズナ)								+								
H.31 チチコグサ								+								
H.32 リュウキュウチク								+								
H.33 タイヌビエ																
H.34 ハイニシキソウ																
H.35 アカメガシワ																
H.36 ウスベニニガナ																
H.37 ヤハズエンドウ(カラスノエンドウ)																
H.38 シロツメクサ																
H.39 ヒナギキョウ																

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: かへつ状に分布, 4: かへつに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

表 7.1.3-33(2) 無障害物帯形成地の植生調査結果(N-1(b))

調査年月日	東側								西側								出現回数
	H29年度			H30年度					H29年度			H30年度					
	7/14	10/6	1/22	6/1	9/14	10/27	2/12	7/14	10/6	1/22	6/1	9/14	10/27	2/12			
方位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
傾斜角度 (°)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
調査区面積 (m ²)	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	2×1	
草本層(H)の高さ (m)	0.5	0.5	0.3	0.4	0.4	0.4	0.5	0.3	0.4	0.4	0.5	0.8	0.8	0.8			
草本層(H)の植被率 (%)	95	95	95	95	100	100	100	100	95	95	100	100	100	100			
出現種数 (種)	5	4	4	8	9	8	11	5	5	5	7	6	6	6			
草本層(H)																	
H.1 シバ	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	4・4	5・5	5・5	5・5	5・5	28		
H.2 シロノセンダングサ	+			+	+	+	+2				+2	2・2	2・2	2・2	13		
H.3 オオアブラガヤ		+	+	1・1	2・2	2・2	2・3	1・2	2・2	2・2	3・3	3・4	3・4	3・4	13		
H.4 ベニバナボロギク			+	+	+		+			+	+	+			11		
H.5 オオアレチノギク				+	+2	+	+2								7		
H.6 ハマサルトリイバラ									+	+	+	+2	1・2	+2	7		
H.7 ハマズゲ	1・2	2・2	1・2	2・2	2・2	2・2	1・2								7		
H.8 ギョウギシバ								+	+	3・3	2・2	+2	+2	+	7		
H.9 ササクサ															5		
H.10 ホシダ															5		
H.11 リュウキュウモチ															4		
H.12 ニワゼキショウ															4		
H.13 ダンドボロギク					+										3		
H.14 ヒサカキ															3		
H.15 ヤハズソウ				+	1・1	1・1									3		
H.16 コマツヨイグサ				+		+2	+								3		
H.17 ホルトノキ															2		
H.18 ツゲモチ															2		
H.19 コバナヒメハギ					+										2		
H.20 コメツブウマゴヤシ							+								2		
H.21 オニタヒラコ						+	+								2		
H.22 アゼガヤツリ								+	+						2		
H.23 カタバミ													+	+	2		
H.24 ワラビ															1		
H.25 ヒカゲヘゴ															1		
H.26 コウライシバ															1		
H.27 タチスズメノヒエ															1		
H.28 ヤマヒハツ															1		
H.29 ホウキギク															1		
H.30 インチンナズナ(カラクサナズナ)															1		
H.31 チチコグサ															1		
H.32 リュウキュウチク															1		
H.33 タイヌビエ	+														1		
H.34 ハイニシキソウ	+														1		
H.35 アカメガシワ		+													1		
H.36 ウスベニガナ							+								1		
H.37 ヤハズエンドウ(カラスノエンドウ)							+								1		
H.38 シロツメクサ								+							1		
H.39 ヒナギキョウ											+				1		

注) 表中の数値は、優占度・群度の階級であり、例えば「1・2」の場合、「1」が優占度、「2」が群度となる。
 優占度→5: 被度が75~100%, 4: 被度が50~75%, 3: 被度が25~50%, 2: 被度が10~25%, 1: 被度が10%未満, +: 被度が1%以下
 群度→5: かべツ状に分布, 4: かべツに穴が開いた状態, 3: 大きな班を形成あるいはまだら状, 2: 班状に分布, 1: 小群状あるいは単独に分布

【N-1 (b) : 北側】



平成 29 年 7 月 14 日 (過年度 : 初回)



平成 31 年 2 月 12 日

【N-1 (b) : 南側】



平成 29 年 7 月 14 日 (過年度 : 初回)



平成 31 年 2 月 12 日

【N-1 (b) : 東側】



平成 29 年 7 月 14 日 (過年度 : 初回)



平成 31 年 2 月 12 日

【N-1 (b) : 西側】



平成 29 年 7 月 14 日 (過年度 : 初回)



平成 31 年 2 月 12 日

図 7.1.3-33 無障害物帯の植生状況の推移 (N-1 (b))